

2021（令和3）年度

# 事業報告書

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

学校法人 宮城学院



# 目次

<b>I. 学校法人の概要</b> .....	<b>- 1 -</b>
1. 基本情報.....	- 1 -
2. 法人の事業目的.....	- 1 -
3. 設置する学校・学部・学科等.....	- 1 -
4. 宮城学院の沿革.....	- 1 -
5. 組織.....	- 3 -
6. 学部・学科等の入学定員、学生・生徒・園児在籍者数.....	- 4 -
7. 収容定員充足率.....	- 4 -
8. 役員の概要.....	- 5 -
9. 評議員の概要.....	- 7 -
10. 教職員の概要.....	- 9 -
11. 所在地一覧.....	- 10 -
<b>II. 事業の概要</b> .....	<b>- 11 -</b>
1. 学院全体に関わる事業.....	- 11 -
(1) 建学の精神に基づく教育の充実.....	- 11 -
(2) 中期計画.....	- 11 -
(3) 学術情報館（既存建物の改築）.....	- 11 -
(4) 施設修繕.....	- 11 -
(5) 健全な財政基盤の確立.....	- 11 -
(6) 管理運営体制の強化.....	- 11 -
(7) 施設設備等の整備.....	- 12 -
(8) 募金事業の展開.....	- 13 -
(9) 奨学金制度の見直し.....	- 13 -
(10) 危機管理体制の充実.....	- 14 -
2. 宮城学院女子大学・大学院に関する事項.....	- 14 -
(1) 大学におけるキリスト教教育諸活動.....	- 15 -
(2) 教育・研究活動の充実.....	- 16 -
(3) 教育内容の充実に向けて.....	- 16 -
(4) 学生支援の充実.....	- 17 -
(5) 学生募集.....	- 20 -
(6) 社会連携（MG-LAC 活動を含む）.....	- 20 -
(7) 国際交流.....	- 21 -
(8) 生涯学習.....	- 21 -
(9) 大学院.....	- 21 -
(10) 大学後援会活動及び保護者等との連携.....	- 22 -
3. 宮城学院中学校高等学校に関する事項.....	- 22 -
(1) 教育計画全般.....	- 22 -
(2) キリスト教教育活動.....	- 22 -

(3) 学習指導 .....	- 23 -
(4) グローバル・スタディーズ .....	- 24 -
(5) 海外研修・国際交流・国際寮 .....	- 24 -
(6) 音楽教育 .....	- 24 -
(7) 生徒会指導、生活指導 .....	- 24 -
(8) 進路指導 .....	- 25 -
(9) 入試広報 .....	- 25 -
(10) スクールバス .....	- 25 -
(11) その他 .....	- 25 -
4. 宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」に関する事項 .....	- 25 -
5. 宮城学院女子大学附属音楽教室に関する事項 .....	- 26 -
6. キリスト教センターに関する事項 .....	- 27 -
7. 資料室に関する事項 .....	- 28 -
<b>III. 財務の概要 .....</b>	<b>- 30 -</b>
<b>IV. 資料 .....</b>	<b>- 38 -</b>
1. 理事会、評議員会の開催状況 .....	- 38 -
(1) 理事会の開催状況 .....	- 38 -
(2) 常任理事会の開催状況 .....	- 38 -
(3) 評議員会の開催状況 .....	- 44 -
2. 法人、大学、中学校高等学校及びこども園の主要な行事等 .....	- 44 -
(1) 法人（理事会・評議員会を除く） .....	- 44 -
(2) 大学院・大学 .....	- 45 -
(3) 中学校高等学校 .....	- 47 -
(4) 大学附属認定こども園「森のこども園」 .....	- 48 -
3. 補助金の状況 .....	- 50 -
4. 入学志願者、合格者、入学者数 .....	- 56 -
5. 寮生数 .....	- 56 -
6. 2021年度就職内定状況 .....	- 57 -

# I. 学校法人の概要

## 1. 基本情報

法人名 学校法人宮城学院  
住所 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号  
電話/FAX番号 022-279-1311/022-279-4667  
ホームページURL <https://www.mgu.ac.jp/home/>

## 2. 法人の事業目的

寄附行為第3条において、「学校法人宮城学院は、福音主義のキリスト教に基づき、教育基本法及び学校教育法に従い、女子及び幼児に学校教育を行うことを目的とする。」と定め、大学院、大学、高等学校、中学校、認定こども園及びその他の教育研究施設を設置し、女子の初等・中等教育及び高等教育を担い、広く社会に有能な人材を育成することを目的としている。

## 3. 設置する学校・学部・学科等

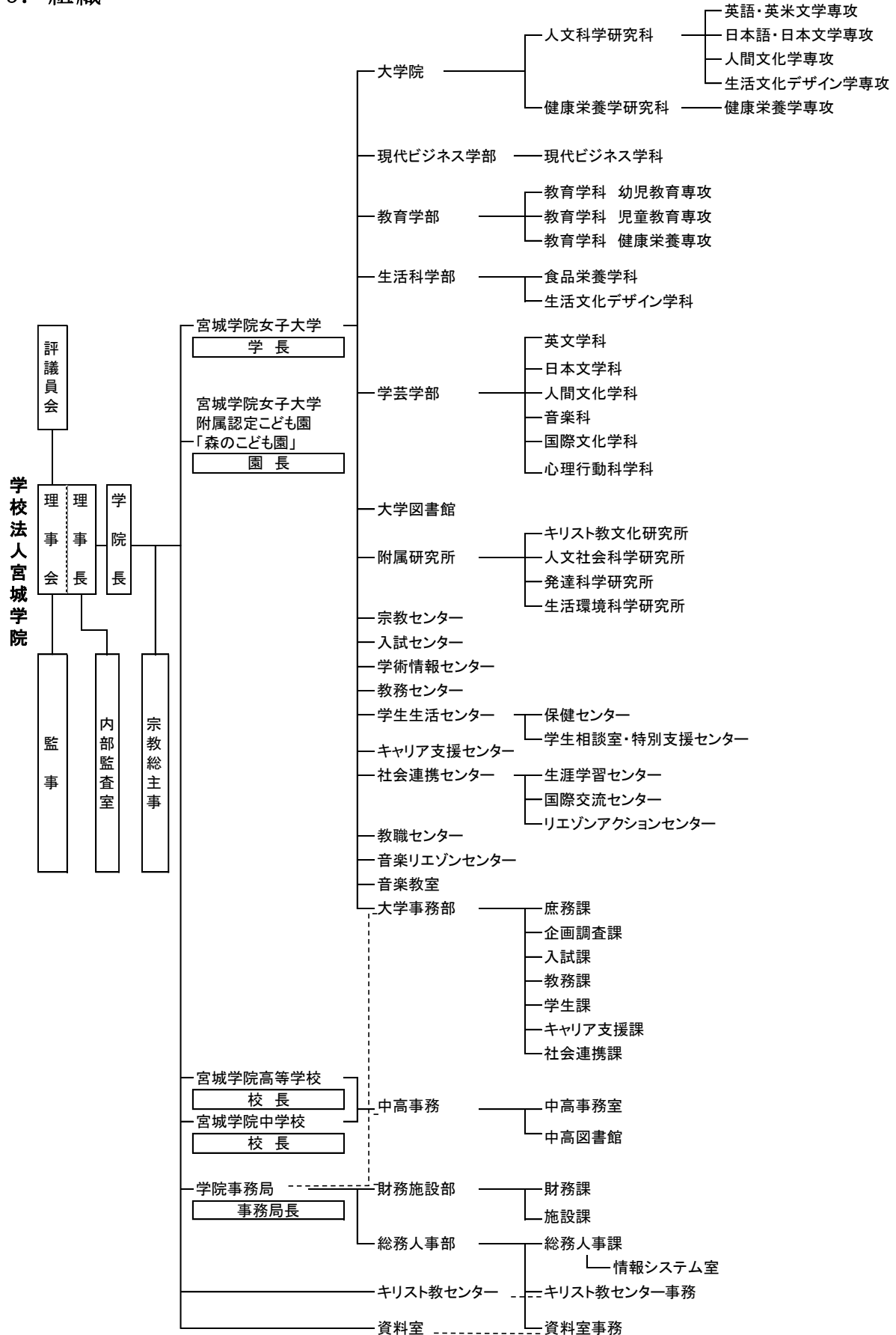
設置する学校	設置年	学部・学科等
宮城学院女子大学	1949年	大学院 人文科学研究科 健康栄養学研究科 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教育学部 教育学科 生活科学部 食品栄養学科 生活文化デザイン学科 学芸学部 英文学科 日本文学科 人間文化学科 音楽科 国際文化学科 心理行動科学科
宮城学院高等学校	1948年	全日制課程 普通科
宮城学院中学校	1947年	
宮城学院女子大学附属認定こども園 「森のこども園」	2016年	

## 4. 宮城学院の沿革

1886年 押川方義、ウィリアム・E・ホーイが中心となり宮城女学校創立  
初代校長にエリザベス・R・プールボー就任  
1889年 東三番丁162番地に竣工した新校舎に移転  
1900年 1年制聖書専攻科設置  
1910年 校旗・校章制定  
1911年 高等女学校に準ずる学校となる  
1912年 3年制家政専攻科設置  
1913年 3年制英文専攻科設置

1914年	理事会組織の発足と寄附行為（the Constitution）の制定
1916年	3年制音楽専攻科設置、2年制聖書専攻科設置
1931年	音楽科に師範科及び研究科を設置
1941年	財団法人宮城女学校設立
1943年	宮城女学校を廃止、宮城高等女学校設置、専攻部を専攻科と改称
1946年	学則改正によりキリスト教主義学校へ復す。専門学校令により宮城学院女子専門学校設置（育児科、国語科、外国（英）語科、音楽科）
1947年	新学制により宮城学院中学校設置
1948年	新学制により宮城学院高等学校設置
1949年	宮城学院女子大学設置（学芸学部英文学科、音楽科）
1950年	宮城学院女子短期大学設置（家政科、国文科）
1951年	学校法人宮城学院設立認可
1955年	宮城学院女子短期大学保育科設置
1956年	宮城学院女子短期大学附属幼稚園設置
1959年	大学学芸学部家政学科を設置
1964年	大学学芸学部日本文学科、短期大学に教養科を設置
1980年	東二番丁から現在地である桜ヶ丘へ総合移転
1986年	創立100周年
1988年	短期大学に国際文化科を設置
1995年	大学学芸学部人間文化学科を設置、大学院人文科学研究科を設置（英語・英米文学専攻、日本語・日本文学専攻）
1999年	大学院人文科学研究科に人間文化学専攻を設置
2000年	大学学芸学部食品栄養学科、生活文化学科、発達臨床学科、国際文化学科を設置
2001年	宮城学院女子短期大学廃止
2005年	大学院人文科学研究科に生活文化デザイン専攻を設置
2006年	創立120周年（礼拝堂増築） 高校コース制導入
2007年	大学学芸学部心理行動科学科、児童教育学科を設置
2008年	大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻を設置
2009年	大学院人文科学研究科生活文化デザイン専攻及び大学学芸学部生活文化学科の名称を大学院人文科学研究科生活文化デザイン学専攻及び大学学芸学部生活文化デザイン学科に変更
2016年	創立130周年 大学現代ビジネス学部現代ビジネス学科、教育学部教育学科、生活科学部食品栄養学科、生活文化デザイン学科設置 大学附属幼稚園廃止 大学附属認定こども園「森のこども園」設置
2019年	大学設置70周年 大学学芸学部児童教育学科廃止
2020年	大学学芸学部発達臨床学科廃止
2021年	大学学芸学部食品栄養学科廃止 大学学芸学部生活文化デザイン学科廃止

## 5. 組織



## 6. 学部・学科等の入学定員、学生・生徒・園児在籍者数

(2021年5月1日現在)

				入学 定員	学生・生徒・園児数					収容 定員	定員比
					1年	2年	3年	4年	合計		
大 学 院	修 士 課 程	人文科学研究科	英語・英米文学専攻	4	1	-	/	/	1	8	0.13
			日本語・日本文学専攻	4	-	1	/	/	1	8	0.13
			人間文化学専攻	4	1	-	/	/	1	8	0.13
			生活文化デザイン学専攻	4	1	1	/	/	2	8	0.25
	健康栄養学研究科	健康栄養学専攻	4	1	4	/	/	5	8	0.63	
大学院合計				20	4	6	/	/	10	40	0.25
大 学	現代ビジネス学部		現代ビジネス学科	95	98	111	115	103	427	380	1.12
	教育学部	教育学科幼児教育専攻		90	92	94	101	95	382	360	1.06
		教育学科児童教育専攻		50	54	67	60	52	233	200	1.17
		教育学科健康教育専攻		30	35	32	35	31	133	120	1.11
	生活科学部	食品栄養学科		100	108	107	102	111	428	400	1.07
		生活文化デザイン学科		60	60	71	73	49	253	240	1.05
	学芸学部	日本文学科		100	94	109	108	110	421	400	1.05
		英文学科		70	64	79	95	92	330	280	1.18
		人間文化学科		70	59	75	82	62	278	280	0.99
		心理行動科学科		60	72	72	68	60	272	240	1.13
		音楽科		25	18	15	26	26	85	100	0.85
国際文化学科		-	-	-	-	2	2	-	-		
大学合計				750	754	832	865	793	3244	3000	1.08
大学院・大学合計				770	758	838	865	793	3254	3040	1.07
高等学校				260	112	121	134	/	367	780	0.47
中学校				160	48	58	60	/	166	480	0.34
認定こども園				定員	未満児	3歳	4歳	5歳	129	120	1.08
				120	30	32	37	30			
総 合 計				/	948	1049	1096	823	3916	4420	0.89

## 7. 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
大学院	0.58	0.53	0.38	0.33	0.25
大学	0.98	1.00	1.02	1.09	1.08
高等学校	0.52	0.49	0.47	0.48	0.47
中学校	0.30	0.33	0.35	0.36	0.34
認定こども園	1.03	0.96	0.96	1.08	1.08



## 8. 役員概要

定数 理事 15～17 名、監事 2 名（2022 年 3 月 31 日現在）

理事監事	氏名	選任条項	就任年月日	勤務形態	主な現職等
理事長	うみ の みち お 海 野 道 郎	8-1-8 学識経験者 7-3 理事長	2016年11月28日	常勤	学宮城学院 理事長
理事	しま だ まさ よし 嶋 田 順 好	8-1-1 学院長	2014年4月1日	常勤	学宮城学院 学院長
理事	すえ みつ ま き 末 光 真 希	8-1-2 学長	2019年11月28日	常勤	宮城学院女子大学 学長
理事	ひら ばやし けん 平 林 健	8-1-3 校長	2016年7月19日	常勤	宮城学院中学校高 等学校校長
理事	まさ き きょう すけ 正 木 恭 介	8-1-4 副学長	2020年4月1日	常勤	宮城学院女子大学 副学長
理事	との つか あつ こ 戸野塚 厚 子	8-1-4 副学長	2013年11月28日	常勤	宮城学院女子大学 副学長
理事	ほん だ たつ お 本 田 辰 雄	8-1-5 事務局長	2013年4月1日	常勤	学宮城学院 事務局長
理事	まる やま ひとし 丸 山 仁	8-1-6 教職員評議員	2021年5月25日	常勤	宮城学院中学校高 等学校教頭
理事	なが い しょう こ 長 井 祥 子	8-1-7 同窓会長	2016年5月15日	非常勤	
理事	ほ しな こ 保 科 けい子	8-1-8 学識経験者	2016年11月28日	非常勤	日本基督教団 福島荒井教会牧師
理事	た なか ひろ し 田 中 弘 志	8-1-8 学識経験者	2013年11月28日	非常勤	
理事	いし かわ みき こ 石 川 幹 子	8-1-8 学識経験者	2013年11月28日	非常勤	中央大学研究開発 機構 機構教授
理事	おお いずみ かず ぬき 大 泉 一 貫	8-1-8 学識経験者	2013年11月28日	非常勤	
理事	さ くま けい こ 佐久間 敬 子	8-1-8 学識経験者	2010年11月28日	非常勤	弁護士
理事	ま にわ ひろし 間 庭 洋	8-1-8 学識経験者	2019年11月28日	非常勤	
理事	すぎ もと きみ こ 杉 本 きみ子	8-1-9 評議員	2016年11月28日	非常勤	
理事	ふじ さわ とも こ 藤 沢 智 子	8-1-9 評議員	2020年5月26日	非常勤	tbc Az(株) 代表取締役社長
監事	ほ きか よし お 保 坂 和 男	9	2013年11月28日	非常勤	
監事	たけ だ まさ ひ と 武 田 雅比人	9	2010年11月28日	非常勤	公認会計士

## 責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約について

### 責任の免除

寄附行為第 22 条において、役員の実任の免除を次のとおり規定している。

第 22 条 役員が任務を怠ったことによって生じた損害について本法人に対し賠償する責任は、職務を行うことにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、役員が賠償の責任を負う額から私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額を控除して得た額を限度として理事会の議決によって免除することができる。

### 責任限定契約

寄附行為第 23 条において、役員の実任限定契約を次のとおり規定している。本学院では本寄附行為に基づき、非業務執行理事及び監事に対しては、責任限定契約を締結している。

第 23 条 理事（理事長、常務理事、業務を執行したその他の理事又は本法人の職員でないものに限る。）又は監事（以下この条において「非業務執行理事等」という。）が任務を怠ったことによって生じた損害について本法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金 50 万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができる。

### 補償契約

本学院では、役員の実任執行の過度な萎縮を防ぐ観点から、今年度から役員がその職務執行に関し負う損害賠償責任に係る費用等を学校法人が役員に対して補償する契約、いわゆる「補償契約」を結んでいる。

### 補償契約

本学院では、役員の実任執行の過度な萎縮を防ぐ観点から、今年度から役員がその職務執行に関し負う損害賠償責任に係る費用等を填補する責任保険契約で学校法人が保険者との間で役員を被保険者として締結するものいわゆる「役員賠償責任保険契約」を結んでいる。

<契約内容>

契約当事者：学校法人宮城学院、東京海上日動火災保険㈱

保険期間：2022 年 4 月 1 日午後 4 時から 2023 年 4 月 1 日午後 4 時まで

被保険者（補償の対象となる者）の範囲：

【個人被保険者】役員（理事、監事）、退任役員

【記名法人】学校法人宮城学院

補償内容：役員としての業務の遂行に起因して、保険期間中に損害賠償がなされたことによって被る損害を、保険期間中の総支払限度額の範囲内で支払う保険。

支払限度額：15 億円。

## 9. 評議員の概要

定数 31～35 名（2022 年 3 月 31 日現在）

氏名	選任条項	就任年月日	主な現職等
しま だ まさ よし 嶋 田 順 好	28-1-1 学院長	2014 年 4 月 1 日	(学)宮城学院 学院長
すえ みつ ま き 末 光 真 希	28-1-1 学長	2016 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 学長
ひら ばやし けん 平 林 健	28-1-1 校長	2009 年 10 月 6 日	宮城学院中学校高等学校 校長
ほん だ たつ お 本 田 辰 雄	28-1-1 事務局長	2013 年 4 月 1 日	(学)宮城学院 事務局長
ほし ゆう じ 星 祐 二	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 教授
いま ばやし なお き 今 林 直 樹	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 教授
てん どう むつ こ 天 童 睦 子	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 教授
こん の せい こ 紺 野 聖 子	28-1-1 教職員	2016 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 副手
えん どう じゅん こ 遠 藤 純 子	28-1-1 教職員	2021 年 5 月 25 日	宮城学院中学校高等学校 教頭
おおく ぼ なお き 大久保 直 樹	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院中学校高等学校 宗教主事
まる やま ひとし 丸 山 仁	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院中学校高等学校 教頭
さくら い ゆ み 桜 井 由 美	28-1-1 教職員	2019 年 5 月 28 日	宮城学院女子大学 大学事務部庶務課長
わた べ しんたろう 渡 部 伸太郎	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院中学校高等学校 事務長
あか い ふみ ゆき 赤 井 史 之	28-1-1 教職員	2019 年 11 月 4 日	宮城学院女子大学 大学事務部学生課長
い とう ひろ こ 伊 藤 裕 子	28-1-2 同窓会	2016 年 11 月 4 日	
さ とう ゆ み こ 佐 藤 祐 見子	28-1-2 同窓会	2016 年 11 月 4 日	
しろ き えつ こ 白 木 悦 子	28-1-2 同窓会	2016 年 11 月 4 日	
に むら ゆ み こ 仁 村 由美子	28-1-2 同窓会	2016 年 11 月 4 日	
いろ かわ さち こ 色 川 幸 子	28-1-2 同窓会	2019 年 11 月 4 日	
いわ い ふ み え 岩 井 富美枝	28-1-2 同窓会	2019 年 11 月 4 日	稲の花(株) 取締役

うつ 内 海 祥 子	28-1-2 同窓会	2019年11月4日	
の 野 川 たく 子	28-1-2 同窓会	2019年11月4日	
ふか 深 だ ひろし 田 寛	28-1-3 教職者	1990年10月25日	仙台キリスト教育院 理事長
つか 塚 もと やす 本 恭 子	28-1-3 教職者	2010年3月10日	日本基督教団 酒田教会牧師
せ 瀬 や ひろし 谷 寛	28-1-3 教職者	2019年11月4日	日本基督教団 仙台東一番丁教会牧師
はし 橋 もと あきら 本 章	28-1-4 学識経験者	2010年3月10日	
すが 菅 わら ひろ のり 原 裕 典	28-1-4 学識経験者	2010年11月4日	(株)清月記 代表取締役
さ 佐 とう ひろ み 藤 博 美	28-1-4 学識経験者	2013年11月4日	東通インテグレート(株) 代表取締役社長
すぎ 杉 もと きみ 本 きみ 子	28-1-4 学識経験者	2016年11月4日	
き 木 むら より 子 村 順 子	28-1-4 学識経験者	2016年11月4日	
ねり 練 生川 まさ し 川 雅 志	28-1-4 学識経験者	2021年5月25日	(株)河北新報社 常務取締役
ふじ 藤 さわ とも 子 沢 智 子	28-1-4 学識経験者	2019年5月28日	tbc Az(株) 代表取締役社長
たか 高 はし ひろし 橋 博	28-1-4 学識経験者	2019年11月4日	(株)仙台銀行 相談役
くり 栗 た とし みつ 田 敏 光	28-1-4 学識経験者	2019年11月4日	(株)アパートナー 副会長
きく 菊 ち いさ お 池 勇 夫	28-1-4 学識経験者	2020年5月26日	

## 10. 教職員の概要

教職員数

(2021年5月1日現在)

区分		教育職員	教務職員※ <sup>11</sup>	事務職員	合計
法人	本務			8 ※ <sup>1</sup>	8
	兼務			2	2
大学	本務	116 ※ <sup>2</sup>	27 ※ <sup>3</sup>	45 ※ <sup>4</sup>	188
	兼務	311	3	7	321
高等学校	本務	31 ※ <sup>5</sup>	1 ※ <sup>7</sup>	2	34
	兼務	22		4	26
中学校	本務	20 ※ <sup>6</sup>	1	2 ※ <sup>8</sup>	23
	兼務	4			4
認定こども園	本務	22 ※ <sup>9</sup>		1 ※ <sup>10</sup>	23
	兼務	3		6 ※ <sup>12</sup>	9
小計	本務	189	29	58	276
	兼務	340	3	19	362
合計		529	32	77	638

※1 事務嘱託職員 2名を含む。

※2 特任教員・特命教員 43名を含む。

※3 教務嘱託職員、スポーツ振興専門員、コーディネーター 計 16名を含む。

※4 専門職嘱託職員、事務嘱託職員 5名を含む。

※5 養護教諭（専任）1名及び契約教員 7名を含む。

※6 契約教員 9名を含む。

※7 教務嘱託職員 1名。

※8 事務嘱託職員 1名を含む。

※9 嘱託保育教諭 14名を含む。

※10 管理栄養士 1名。

※11 教務職員とは大学は副手・助手、中学校高等学校では実習助手及び教務嘱託職員を指す。

※12 調理員 3名及びシルバーパート 2名を含む。

教職員の平均年齢

区分	教育職員	教務職員	事務職員	全体
本務	50.69 歳	41.52 歳	44.17 歳	48.36 歳
兼務	53.21 歳	47.33 歳	43.47 歳	52.65 歳
合計	52.31 歳	42.06 歳	44.00 歳	50.79 歳

## 11. 所在地一覧

学校法人宮城学院	仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目 1-1
宮城学院女子大学	同 上
宮城学院高等学校	同 上
宮城学院中学校	同 上
宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」	同 上



## II. 事業の概要

### 1. 学院全体に関わる事業

#### (1) 建学の精神に基づく教育の充実

キリスト教教育をこども園・中学校・高等学校・大学・大学院までの一貫教育の根本に据えて、全学院的にその充実に取り組んだ。昨年度に続いてコロナ禍に見舞われた試練の中にあっても、本学院の教育の礎である礼拝は、法人を含むそれぞれの部門において可能な限り対面礼拝を志向しつつ、状況に応じて放送礼拝、動画配信などの手段を用いて堅持することができた。礼拝以外の様々なキリスト教活動は縮小せざるを得なかったものの、YWCA、大学聖歌隊、大学ハンドベルクワイア、ハートフルボランティアは、工夫をこらしつつ独自の活動を展開した。また、生涯学習受講者及び教職員を対象にキリスト教講座を開催、9月18日の創立記念日には、創立記念礼拝の他、創立記念講演会に立教大学総長・キリスト教学校教育同盟理事長西原廉太氏を招き講演いただいた。さらに、キリスト教学校教育同盟・キリスト教保育連盟等の研修会に各部門から多くの教職員が参加し、キリスト教的価値観を共有することができた。

#### (2) 中期計画

今年度は第5次中期計画（2021年度～2025年度）の初年度となり、理事長、学院長が、第5次中期計画を直接教職員に説明し、全学院への浸透を図った。各部門においては、将来のあるべき姿を具体的に見据えた目標を掲げ、各々課題に着手した。

#### (3) 学術情報館（既存建物の改築）

学術情報館構想の一部である既存建物（人文館、講義館）の改築により、人文館2階には、学生課、学生相談室、特別支援室を配置、講義館2階のキャリア支援課、社会連携課を改修し、学生サービスの向上、充実を目指して、最適な施設整備を行った。

#### (4) 施設修繕

施設修繕準備調査の結果から、優先度の高いものについて順次施設修繕に着手した。今年度は、大学講義館外壁改修工事の他、人文館・礼拝堂・大学講堂・学生センターの内壁タイル脱落対策調査、人文館・実習館・家政館の防水改修、外壁改修工事及び管理、経年劣化による設備の更新工事を実施した。

#### (5) 健全な財政基盤の確立

本学院の主要施策となる学生生徒等の確保は、中期計画目標を達成することができなかった。これにより、学生生徒等納付金が大幅に減少したことから、今年度は教育活動収支差額、経常収支差額、基本金組入前当年度収支差額の収支均衡を見据え、2回の補正予算を編成し、支出面では人件費、教育研究経費、管理経費等の適正な再配分を行い、全学院で支出経費の精査に取り組んだ。

#### (6) 管理運営体制の強化

##### ア 法人の経営・運営体制等の改善

学校法人としての主体的責任と役割を明確化しつつ、宮城学院ガバナンス・コードを策定し、情報公開を行った。理事長を中心に、各部門の円滑な意見交換、情報共有を図り、学院全体の効率的な運営を目指して諸課題に取り組んだ。

## イ 監査体制の強化

内部監査では、監査項目として業務監査並びに会計監査を設け、業務監査では共通項目、部署固有項目を設定し、学院内規程を含めたコンプライアンスへの取組の適切性と業務運営の合理性及び効率性を中心に検証を行った。監事監査は、上半期・下半期の現金預金有価証券の監査、予算案・決算案等の監査を実施するとともに、学部門等における公的研究費の不正防止に関する内部統制の整備・運用状況、コンプライアンス推進の状況を確認監査した。さらに、理事会、常任理事会、評議員会に出席するとともに、内部監査室、公認会計士との意見交換を行った。公認会計士監査は年7回（延べ11日）、定期監査、現金実査確認の監査、決算監査として行い、常任理事会構成員と監事との合同懇談会を行うなど、監査充実に向けて取り組んだ。

## ウ 職員の能力開発

新入職員を対象に新任職員研修、管理職を対象に考課者研修等を実施し、キリスト教学校教育同盟夏期学校、日本私立大学連盟等で実施されたアドミニストレーター養成関連を含むほぼ全ての研修プログラムに職員を参加させるなど、職員ごとの業務に必要な知識やスキル向上を目指した研修情報を提供して、参加させた。また、事務職員全体研修を実施し、第一部は末光眞希学長に「数学は楽しい、そして役に立つ」と題しての講演、第二部は藤橋孝彰防災アドバイザーの指導のもと防災図上訓練（オンライン）を行った。

## (7) 施設設備等の整備

### ア 施設設備の整備事業

・ 講義館外壁改修工事（2年目）	82,042,400 円
・ 人文館・実習館防水改修及び外壁改修工事	43,333,020 円
・ 家政館防水改修及び外壁改修工事及び監理	25,983,094 円
・ 大学講堂・中高講堂・学生センター小ホール・ハンセンホール舞台照明設備更新修繕工事	65,197,275 円
・ 大学研究室冷房化設計及び工事	19,690,000 円
・ 講義館耐震補強設計	9,911,000 円
・ 分電盤更新工事及び監理（第一期・1年目）	18,194,000 円
・ 分電盤更新設計（2年目）	20,636,000 円
・ 体育館カーテンウォール改修工事及び監理	111,584,000 円
・ 人文館・大学講堂・学生センター・ランディス館・礼拝堂内壁タイル脱落対策調査	11,737,000 円
・ 大学体育館・中高体育館器具庫床補修工事	4,059,000 円
・ 量水メーター・電気メーター更新工事	2,002,000 円
・ 講義館・第二講義館・家政館・礼拝堂・図書館ガスヒートポンプエアコン等更新設	15,070,000 円
・ 音楽館・中高棟・体育館・本館・学生センター屋上防水改修及び外壁改修設計	16,874,000 円
・ その他の工事	6,915,348 円
合 計	453,228,137 円

### イ 臨時的事業計画

・ 大学 視聴覚設備更新・Microsoft Teams 運用サポート	8,360,000 円
・ 大学 ICT 教育の展開（iPad 整備）	2,809,200 円



・ 大学 紫外可視分光光度計の更新	1,590,000 円
・ 大学 Adobe デザインソフトの更新	1,740,860 円
・ その他の事業	2,371,877 円
合 計	16,871,937 円
ウ 臨時的事業計画（補助金事業）	
・ 中高 教室プロジェクタ設置工事	4,433,000 円
・ 中高 音楽室（3 教室）プロジェクタ設置工事	1,706,925 円
合 計	6,139,925 円
エ その他	
・ 大学 学術情報館関係	128,058,282 円
合 計	128,058,282 円

## （8）募金事業の展開

寄付者の多様な想いを酌み取ることができるよう、多彩な寄付メニュー（①学生・生徒等の奨学基金、②学生・生徒等の活動支援、③教育・研究振興支援、④施設・設備充実支援等）を用意、これらをオリーブリーフ募金として一体化し、募金事業を展開した。昨年度から募集を開始した新型コロナウイルス感染症に対する学生生徒への緊急支援募金は今年度も継続して募集を行った。本学院の役員、教職員、同窓生、保護者など、多くの皆様のご賛同を得て、今年度の募金総額は 22,514,622 円であった。

## （9）奨学金制度の見直し

今年度は宮城学院女子大学新型コロナウイルス感染症学生支援策を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が困窮している宮城学院女子大学の学生等を対象に、学生生活を送るために不可欠な食費負担の軽減を目的として、学生一人につき 5 万円分の食堂利用定期券を配布する支援を行った。

2021 年度奨学金等の事業実施状況は以下のとおり。

- 宮城学院女子大学新型コロナウイルス感染症学生支援策
 

大学院 1 名	大学 58 名	計 784,400 円
---------	---------	-------------
- 宮城学院新型コロナウイルス感染症緊急修学支援給付奨学金
 

大学 4 名	計 1,000,000 円
--------	---------------
- 宮城学院女子大学授業料減免（高等教育の修学支援新制度）
 

大学 329 名	計 193,776,000 円
----------	-----------------
- 宮城学院高等学校入学金減免
 

高校 8 名	計 250,000 円
--------	-------------
- 宮城学院学業特待奨学金（プールボー奨学金）（給付）
 

大学 11 名	高校 26 名	中学 4 名	計 14,452,400 円
---------	---------	--------	----------------
- 宮城学院奨学会奨学金（給付及び事前予約型給付）
 

大学 1 名	計 108,000 円
--------	-------------
- 宮城学院女子大学奨学金（給付）
 

大学 8 名	計 2,200,000 円
--------	---------------
- 宮城学院同窓会奨学金（給付）
 

大学 5 名	高校 9 名	中学 4 名	計 1,700,000 円
--------	--------	--------	---------------

## (10) 危機管理体制の充実

2014 年度から毎年実施してきた全学生・生徒・園児・全教職員の参加による「全学院総合防災訓練」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、シェイクアウト訓練を実施した後、仙台市防災・減災アドバイザー折原久直氏のご協力により、仙台市公式動画「防災ちゃんねる」をもとにした宮城学院用 Web 配信コンテンツを作成、YouTube 配信を各自視聴し、集中化・激甚化する自然災害に対し、命を守るための防災・減災の心得を学ぶ機会となった。昨年に続いて今年 3 月にも福島県沖を震源とするマグニチュード 7.4（最大震度 6 強）の大規模な地震が発生し、本学院では大きな被害はなかったが、防災意識の必要性・重要性を改めて認識したところである。2020 年 2 月以降に発生した新型コロナウイルス感染症の対応として、新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインを随時更新している。さらに学内外に向けて迅速で的確な情報発信を行うなど、感染拡大防止対策を徹底しつつ学校運営の維持に努めた。

## 2. 宮城学院女子大学・大学院に関する事項

第 5 次中期計画の遂行にあたって、大学においては、自らの教育理念を改めて確認し、それを分かりやすい形で学内外に伝えるべく、ブランディング事業を推進した。前期に行ったワークショップ等の活動は「愛のある知性を。」というタグラインの制定という成果に結びつき、後期は広報委員会や各部局を通じて、このタグラインを広めるとともに、これを更に具体的な行動指針に落とし込む段階に進んだ。

また、第 5 次中期計画を遂行するため、大学では各部局の取組における方針を明文化した。そして、今年度の計画を各部局において実施しつつ、より詳細な課題の洗い出しを行い、それぞれについて担当部局と到達目標を定めた。さらに、これらを自己点検運営委員会が定期的に点検・評価することにより、それぞれの計画の更なる改善を図ることができる内部質保証体制を整えた。このうち、内部質保証の中核にある教学マネジメントにおいては、3 ポリシーの運用をより実質化するためのアセスメントプランの策定を進めた。目標の設定やその点検・評価においては、これまで以上に IR データを収集・活用し、精緻な内部質保証が推進できるようになった。

新型コロナウイルス感染症への対策の徹底と学生の学修機会の確保の両立を目指し、昨年度に定めた本学の活動制限指針を適宜修正し、制限の中においても十分な学生の修学、課外活動、研究活動を行えるようにした。学生の教育活動については、学生の健康面や安全面を最優先に考え、原則 1 校時目と 5 校時目は遠隔方式を利用した授業運営を行い、それ以外の授業時間帯は対面とすることとし、対面授業の比率 7 割を目途に運営してきた。

宮城県のみん延防止重点措置の延長などの感染状況の悪化により、入学式は延期となったが、6 月 26 日に挙行了。6 月 1 日より活動制限レベルを 0.5 に下げ、原則として授業は対面で行うこととした。夏季休業中に宮城県は緊急事態宣言の対象地域となり、後期開始までの間、活動制限レベルを 1.0 に引き上げ、感染対策を徹底しながらの活動を強いられた。

8 月にはワクチンの大学拠点接種が始まり、ワクチン接種の啓発を行った。また、後期開始にあたり、在学生に対し、ワクチン接種状況ならびに副反応の実態等についてアンケート調査を実施し、その結果をホームページに掲載した。調査の結果、ワクチン接種済みの学生が 90%を超える状況であることが分かった。ワクチン接種に伴う副反応等により、学生の学修に不利益がないように教務上の対応を徹底した。後期は活動制限レベルを 0.5 に下げ、原則を対面授業とした。2022 年に入り、第 6 波により学生・教職員の陽性者は断続的に発生したが、キャンパス内及び寮において感染拡大は生じなかった。本学関係者における感染者数（3 月 29 日現在）は学生 68 名、教職員 2 名と学内関係者の感染が比較的抑えられていると評価している。

自宅の学習環境が整っていない学生に対する Wi-Fi ルーター、タブレットの無償貸し出し、新型

新型コロナウイルス感染症の影響により家計が困窮している学生に対して、食費負担の軽減を目的として食堂利用定期券の配布、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した学生の経済的負担を軽減し、修学の機会を確保するための奨学金を給付した。

コロナ禍において、感染対策を徹底しながらの上記の活動、すなわち、対面授業の提供、経済的支援、教務的対応は、中途退学者の増加をもたらさなかった要因と捉えている。(2019年度40名、2020年度49名、2021年度3月29日時点38名)

なお、現時点でも、感染者数は減少しているものの終息に至っていないことから、今後についても学生・教職員の安全衛生管理に努めていかなければならない。本学に在籍する一人一人が充実した学生生活を送り、卒業できるよう学生の修学支援に関しても継続して取り組んでいく。

## (1) 大学におけるキリスト教教育諸活動

建学の精神の実質化を目指し、キリスト教主義学校の社会的責任を果たすため、以下の活動を展開した。

### ア 教育活動全般

「キリスト教学」(1年次必修)、「キリスト教と現代社会」(3年次必修)、「キリスト教教育論」(教育学部1年次必修)においては、聖書のエッセンスを伝え、自己受容と共生社会の実現の重要性を強調する講義を提供した。「キリスト教と現代社会」の2クラスでは教育推進研究費を活用し、仙台市内で女性のためのケアハウスを運営する本学卒業生の講演動画を撮影して配信した。新型コロナウイルス禍の中で苦闘する女性たちの現状を学生が知ることができるよう努めた。

### イ キリスト教教育活動

対面礼拝は週2回のペースで行い(前期25回、後期24回)、同時に礼拝動画を作成して前期8本、後期6本を配信した(YouTube上での限定公開)。対面礼拝の出席者数は、出席者に制約を設けたため、1回につき平均11名に留まったが、動画の視聴総回数は総計11410回(3月7日現在)に上った。

6月10日のキリスト教教育特別集会は対面では行えなかったため、講師の講演の動画を配信した。講師はトランスジェンダー女性の日本聖公会司祭・アンブロジーア後藤香織師。トランスジェンダーに対する誤解や偏見について自身の経験に基づいて話すものであり、当事者の話を聞くことができた学生たちに歓迎された。総視聴回数は1708回であり、本学の「共生のための多様性宣言」に対する理解を促進することに貢献した。

クリスマス特別礼拝のために、日本キリスト教団三津教会の森分望牧師の説教、音楽科学生の合唱を組み込んだ礼拝動画を作成し、12月9日に配信を行った(総視聴回数256回)。

3月16日の卒業礼拝では、コロナ禍のため外部から説教者を招くことは断念。嶋田順好学院長を説教者に迎えて対面で行い、61名が出席した。

4月のさくら寮入寮式では礼拝を執り行うことができたが、12月のクリスマス礼拝は中止となった。このため、クリスマスメッセージを添えたカードを作成し、寮内に掲示した。

音楽科オルガン・ピアノ専攻4年生を対象とした奏楽者ガイダンスは、4月にオンライン形式で開催。礼拝と奏楽の意味を説明して理解と協力を求めた。

2020年春以来中止されていた法人のキリスト教講座は、11月に再開。宗教センターも積極的に協力し、計3回の講座を行うことができた。

礼拝堂の入口ホールにおいて、絵本を通じてキリスト教のテーマを紹介する展示企画を昨年からは継続して開催。5回の展示を行った。

礼拝スケジュールやセンターの活動を伝える広報の一環として、6月末から「MGUチャペルレター」の配信を月1回のペースで開始。3月中旬までに9号を配信した。また、センターのホー

ムページ内容を一新した。

イベント・礼拝における講演・説教を収録した『あかり』第15号(5000部)を3月に刊行し、卒業生や新入生に配布する準備を整えた。また、保存用に『あかり』第1～10号(2008年～17年)の合本4部を製作した。

このほか、問題ある宗教団体が本学学生を勧誘する事案が発生したため、関係部局と連絡を取り合うと同時に、注意喚起のポスターを学内の掲示板に掲示した(11月)。また、法人所属のサークルであるYWCA、ハンドベルクワイア、聖歌隊の活動再開に協力し、イベントをサポートした。

## (2) 教育・研究活動の充実

図書館及び学科に配分された予算による図書購入は、おおむね適切に処理され、学生や教員の利用に供している。

収蔵能力の拡大については、中間所蔵庫の設置が完了し、収蔵能力超過状態への抜本的解決に向けて前進することができた。また、図書のカード登録の未遑及図書の管理については、2023年度中の完了に向けて順調に作業を進めることができた。

学内研究費の配分は適切に行ったが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により予定していた出張を中止するなど、費目変更を余儀なくされた。また、遠隔授業支援として教育研究費を一律に増額した。

大学附属の4研究所については、コロナ禍における制約を受けながらも、オンラインによる研究会・講演会、紀要発行などが活発に行われ、研究成果も出した。

外部資金に関する情報提供についても、担当部局から教職員に向けて適切に行った。

また、公的研究費による研究活動に関わる不正行為防止のため、規程改定および組織体制の整備を行った。

## (3) 教育内容の充実に向けて

### ア 教育の質の向上に向けた取組

学部・学科の教育目的が達成されるように、以下のとおり教育の質の向上に取り組んだ。

(ア) カリキュラムの評価・改善を図るため、カリキュラム改善に関する規程(内規)を整備したほか、3ポリシーに連動したカリキュラムマップ、カリキュラムツリーを各学科・専攻毎に作成・導入した。また、アセスメントプランの検討を進めた。これにより今後、科目開講の適切性、教員の担当科目数の適正化に関し、教学マネジメントサイクルが効果的に機能することが期待される。

(イ) コロナ禍による授業運営をまだ視野から外すことができない。本学の授業は可能な限り対面実施とする方針により、遠隔授業は必要最小限となっている。遠隔授業は効率的運用が求められる中、各教員のスキルは全体的に向上しているが、より先進的な技術活用、より優れた非常勤講師の任用及びオンデマンド教材の活用については引き続き検討を進める。

### イ 学修成果の可視化に向けた取組

(ア) 2022年度シラバスより、パフォーマンス科目に対するルーブリック評価を導入することとした。これにより、教育目標と教育評価との関連性を明確にしなが、学生が自らの学修成果を判断・修正・向上を図るための指標を提供する。各科目のルーブリック評価表はシラバスにて公開する。

(イ) 社会が求める高等教育の質保証(卒業時の質保証)に対応する学修成果の可視化は必要だが、ディプロマ・サプリメント(学修履歴証明書)等の導入は、社会要請や本学の多様な学生の様子を鑑みながら進めることとなった。引き続き内容及び導入を検討していく。VALUE

ループリックについては、アセスメントプランの指標の一環として、全学共通のディプロマ・ポリシーを測るループリックとして開発を進めることとなった。

#### ウ 学習支援体制の整備

- (ア) 学術情報館検討委員会の中で、学術情報センターと協議し学術情報館（新館・既存施設改修）計画と連動する形で、ラーニング・コモンズ（アカデミックスキル・サポート・コモンズ）の導入を決定した。今後ラーニング・コモンズに求められる機能を具体化していく（学習支援委員会と学術情報センターとで協働）。

#### エ 高大接続事業の推進

- (ア) 探求学習等への専門的知識の提供として、昨年度に宮城県泉高等学校からの依頼により始まった高校3年生対象の「総合的な学習の時間」への連携協力は、今年度も継続し、3件のテーマについてそれぞれ個別に対応した。そのうち1件については、全国高校生マイプロジェクトアワードへエントリーするなど、次のステップへ発展したことから、個別に対応する本取組は正に探求型学習として適した形であることを確信した。今後は新学期にスケジュールを確認するなど計画性をもって、更に良い学びにつながるよう進めていく。宮城学院高等学校との高大連携プログラムはスケジュールの変更はあったものの、連携体制が整っていたため、その都度調整しながら予定の授業を実施することができた。2022年度も高校生の学びの意欲を高められるよう、2年生及び3年生への専門的知識の提供を継続する。
- (イ) リメディアル教育を用いた入学前教育について、直接業者から説明を聞き、導入を前提とした検討を進めた。あわせて入学前教育の目的を確認し、各学科専攻で実施している入学前課題を継続できるか検討した。リメディアル教育を導入することにより、課題の扱い方特に返却の仕方が変わることから、課題提示の目的が達成できるよう、より実態を踏まえた検討を継続する。

### (4) 学生支援の充実

学生の自主的学修やアクティブ・ラーニング、そして教職課程の教育実践の質向上を行うため、以下の内容に取り組んだ。

#### ア 学修支援について

- (ア) アクティブ・ラーニングの推進に向けたラーニング・コモンズ（グループラーニング・コモンズ）の整備について、学術情報館検討委員会と連動して継続的に検討を行った。今後、更に求められる性能や機能について具体化していく。
- (イ) 次期授業支援システムに求められる機能をまとめている。引き続きその性能と導入検討を進めていく。

#### イ 教職課程支援について

- (ア) 再課程認定された課程について確実な履行を進めるとともに、教職課程認定大学等実地視察での指摘に従い、教職課程の改善と充実を図った。
- (イ) 教員免許状更新講習（栄養教諭）を実施した。従来の教員免許更新講習は2021年度を限り廃止になるが、現行学習指導要領に対応した各種講習会の実施を検討する。
- (ウ) 教育委員会や市内の学校との連携による学習支援事業を継続的に実施した。学生の職場体験を通してキャリア意識の向上を図り、質の高い教員養成を行っていく。
- (エ) GIGA スクール構想に応じるべく、授業内でICT活用経験を増やした。次年度以降、教育職員免許法改訂に基づき、ICT科目の一層の充実を図っていく。

#### ウ 学生生活支援について

- (ア) 自主活動・課外活動支援

前期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学友会春季総会と新入生歓迎会は中止に

なったものの、後期に学友会秋季季総会、そして卒業パーティーを開催することができた。

大学祭もデルタ株の感染拡大のため急遽オンラインでの開催となったが、オンラインならではの趣向を凝らした企画を大学祭実行委員会とともに立案し、一定の成果を収めることができた。実行委員の学生たちは、トラブルに直面した際に次善の策を用意するという貴重な経験を積むことができた。

サークル・同好会の活動については、その都度活動計画を申請してもらい、その時々の実行制限下でできる限り学生たちの意向に沿えるよう、計画について助言しながら、日々の課外活動だけでなく学外大会への参加及び各種イベント開催などにもきめ細かく対応した。

#### (イ) 経済的支援の充実

今年度は、「高等教育の修学支援新制度並びに私立高等学校授業料の実質無償化」の導入2年目となり、学内奨学金の運用状況が変化した。コロナ禍を始めとする経済的な理由によって修学困難な学生の支援を給付奨学金、授業料減免制度の実施によって強化することを目標にした。今年度は学内各種給付奨学金申請に対しては約52%の採択率で計34名を対象に採択した。また、コロナ禍で苦しむ学生に対して、緊急経済支援としての新型コロナウイルス感染症緊急修学支援給付金を5名の学生を対象に40万円または20万円の給付措置をとった。さらに、新型コロナウイルス緊急支援募金から支援を受けて、食堂利用定期券(ミール・カード)を、59名に支給した。奨学金の募集については、ユニパやSNSなどでの発信回数を増やし、学生に対して積極的な周知に努めた。

#### (ウ) 学生相談・特別支援の充実

今年度は、引き続き新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに従いながら、電話・Zoomでの相談・支援を実施し、一部の学生については感染予防対策を徹底した中で対面面談も再開した。また、新型コロナウイルス感染予防に伴う心理的対応について、学生・保護者・教職員に対しホームページに情報を掲載する形で発信した。学生相談室・特別支援室では、入学予定者に対し事前相談を行い、4月の早い時期から必要な支援が可能となった。また、コロナ禍で相談が多かったオンライン授業についての受講方法、課題提出方法など、授業への取組に関する支援とコーディネートを行った。

一方、9月からのセンター移転により、学生がより使いやすく過ごしやすい環境への整備が行われ、個別化・多様化への対応が可能となった。しかし、一部の学生から移転に伴い利用しにくくなったとの声も挙がっていることから、丁寧に聞き取りをしてその理由を分析するなど、移転後の状況を確認しつつ学生にとって望ましい体制を検討し、改善に努めていく。

#### (エ) 学生寮の管理運営及び寮生活サポート

昨年度より続くコロナ禍の中、安心して過ごせる学生寮であるために、施設の消毒、学生への周知などを徹底して行い、予防に努めた。また、通常の寮での活動が行えない中、寮委員と相談し寮内の清掃の仕方や各階の連絡体制の工夫を行い、快適に過ごせる環境作りを心掛けた。

対面授業再開に伴っては、寮生の活動範囲も広がり更なる予防策の徹底も必要となったため、館内放送や便りの配布による注意喚起も繰り返し行った。

#### (オ) 学生のためのアメニティの向上

人文館2階にあったロッカー室が、学生課と学生相談室・特別支援室に改修されたことにより、明るく開放的で、学生が入りやすい空間となった。ほとんどの学生が学生課の前を通過して授業の教室に行くことから、学生の出入りも以前より増しており、利便性も高まっている。

### エ キャリア(就職)支援について

#### (ア) キャリア教育の充実

全学生向けの企画、多様な分野で活躍する女性を講師として招き、それぞれの生き方、働

き方を伺う「キャリアアップセミナー」を年間 12 回実施した。ものづくり、観光、公務員など幅広い分野からゲストを招くことができ、様々な学科のニーズに応えることができる企画となった。また、河北新報社の宮城県受託事業により、特別編として仕事・出産・育児を考える「大学生のためのライフプランセミナー」を 3・4 年生に提供することができた。全てオンデマンド動画視聴形式での開催となったが、多数の学生が視聴した。多様化する女性の生き方、働き方について理解を深め、自らの生き方を考えるきっかけを提供することができた。

(イ) キャリア教育におけるテキストの導入

複数年度にわたり必修科目「キャリアデザイン」が設置されている学部に対しては、今年度に履修を開始する学生向けの授業において、本学キャリア教育担当教員が編集したキャリア教育のテキスト『キャリアを創る』を導入し、自らの学修過程を振り返り発展させる手引きとしている。

(ウ) 多様な進路選択と個々人のニーズ、大学院進学にも対応

多様な進路選択の指針となるように「就職ガイダンス」、「業界職種研究セミナー」、「資格を取って一生の仕事にしよう」、「ジュニアアドバイザーに聞こう（内定を得た 4 年生の体験談）」などをコロナ禍でも引き続き開催した。それぞれ Microsoft Stream でのオンデマンド配信や Zoom でのライブ配信など、その内容や目的によって最適な配信方法を選択して実施したため、実施の周知に際しては、学生が参加方法の違いに戸惑わないように努めた。特に授業や実験などで多忙な食品栄養学科には、あらかじめ内定を得た 4 年生と大学院 2 年生で公立病院などに就職を決めたジュニアアドバイザーの話を録画し、オンデマンド配信をした。今年度は大学院生にも協力を得ることができたため、大学院に進んだらどのような就職先から内定を得られるのかというキャリアパスの参考になる企画となった。

(エ) SPI・筆記試験対策

夏休み後半の 3 日間を使って、一般企業・団体・自治体等が採用試験に取り入れている SPI 試験対策集中講座を、ライブ配信型とオンデマンド配信型のハイブリッド形式で実施した。受講前後で SPI の模擬テストを実施したところ、84 名中 65 名が得点の伸びを確認することができた。コロナ禍により、公務員採用試験で SPI 試験を取り入れる自治体が増えているため、学生たちに実力と自信を付けてもらうために、今後も継続が必要な支援と考えている。

(オ) 低学年からの就職支援及び資格取得のための支援

前述の「ジュニアアドバイザーに聞こう」「業界職種研究セミナー」を 1、2 年生にも公開した。「ジュニアアドバイザーに聞こう」は職員が見守る中、ジュニアアドバイザーと 1～3 年生が就活についてざっくばらんに話をする企画。「就活はまだまだ先・怖い・不安」「今から何を取り組んだらよいか」という悩みや疑問などが、身近な先輩との座談会で解消された。

また、「資格を取って一生の仕事にしよう」は毎年恒例となったが、社会保険労務士・行政書士・税理士など 6 つの国家資格について、起業または企業組織に属して働く 6 名の女性達の話聞くことで、就職だけではない道もあるのだということを学ぶことができた。

(カ) 就職活動が難しい学生への支援及び就職を希望しない学生への支援

学生への個別連絡は、従来の UNIPA メールや電話のみならず、Teams のチャットも利用し、各学生の状況にあわせた支援体制とした。そして就職活動に直面することが困難な学生に対しては、特別支援室及び学生相談室の助言を得て、望ましい対応の仕方を確認するなど丁寧に対応することを徹底した。また、家庭や健康上の都合により卒業時点ではフルタイムの就職を希望しない学生には、パートタイムなど非正規求人への応募支援のみならず、その

後のキャリアパスについても様々な可能性を助言した。

(キ) 就職活動が難しい学生への支援及び就職を希望しない学生への支援

全学必修科目「キャリアデザイン」とキャリア支援課の就職ガイダンス等の就職支援項目について確認し、入学から卒業後までにキャリア支援として段階的に展開されている事柄を一覧できるように図式化した。これを8月よりホームページにおいて公開している。なお、ステークホルダー別の発信については、次年度の支援方針を確定後、公開できるよう準備している。

(5) 学生募集

ア 多面的な評価への対応

学力の3要素と呼ばれる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を全ての入試区分において合否判定に導入することは出来なかったが、各学科・専攻の定めるアドミッション・ポリシーに基づいて多面的な評価を行った。

イ 多様な学生の受入れ

今年度新たにキリスト教主義学校を対象とする指定校推薦制度を導入し、同制度を利用した学生の受入れを目指したが、コロナ禍による影響により、高校訪問等を通じた十分な周知が出来たとは言い難い状況だった。

また、受験生に対して「共生のための多様性宣言」の周知を図るべく、全ての入試において、願書にチェック項目を設けて、受験生への喚起を促した。

ウ 受験生の確保に向けた対応

過去に参加していない地域への参加など、これまで以上に入試相談会や校内ガイダンス等に積極的に参加すると共に、しばらく訪問していなかった高校を含め、きめ細かく高校訪問を行った。高校教員へのアプローチに関しては、昨年度に続いて、高校教員を対象とする本学主催の入試説明会はオンライン形式で実施したが、遠方の高校からの参加など、昨年度より多くの参加者があった。

外国人留学生の確保に向けた方策としては、外国人留学生を対象とする指定校への訪問などを行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国制限の影響により、日本語学校等への外国人の受入れ自体が大幅に減少していることから厳しい結果となった。

(6) 社会連携 (MG-LAC 活動を含む)

仙台市とは、自転車による迷惑行為防止に向けた活動として実態調査等を行うことに加え、数回にわたり報告会等を実施するなど連携事業を継続的に実施することができた。名取市との連携では、名取市包括連携団体間意見交換会などを通じて、名取市と連携協定を締結している各団体との間でも、教職員および学生活動とマッチングを行う体制作りを始めるなど、社会連携活動の範囲を広げることができた。

また、新たな試みとして日本財団学生ボランティアセンターと連携し、全学を対象としたボランティア関連のオンラインセミナーを実施した。コロナ禍によって、ボランティア活動を行うことは難しい状況ではあるが、セミナーを通じて、ボランティア活動は、社会に貢献するためだけでなく、自身のキャリア形成にも重要な役割を果たすことを理解してもらう機会を提供した。

なお、今年度は、新たに大和リース株式会社 (ランチ仙台)、株式会社仙台村田製作所、仙台市社会福祉協議会と連携協定を締結し、地域や企業が抱える課題解決にむけての新たな取組に着手することができた。



## (7) 国際交流

11 月には、海外で活動していた卒業生を招いて、海外での経験談を交えたオンライン講演会を全学対象に開催した。また、1 月には、提携校への留学を経験した 4 年生と留学を希望する在生との交流を目的とした留学相談会を実施し、学生に対して海外提携校情報を提供した。

3 月には、SDGs バーチャルキャンプと題した民間のサービスを利用し、東南アジア 4 か国における課題を SDGs の観点から学ぶプログラムを実施した。このプログラムは、宮城学院教育基金国際交流活動費から助成を受けることで、多くの学生の負担を軽減した上で実現した、新たな取組でもあった。

## (8) 生涯学習

新型コロナウイルス感染対策上、学内施設での開講が難しい状況の中、連携協定を締結しているランチ仙台内のテナントの一面を借り、受講者数を制限するなどの対策をとった上で、5 月から 12 月までの期間で実施した。また、同施設においては、人間文化学科による地域開放講座が開催されたほか、当該施設で実施されている地域を対象とした子育てサロンに、教育学科の教員及び学生が、講師として招かれるなど、幅広い層に対して、本学の教育研究の成果を還元する機会を創出することができた。

また、リモートスタイルでの開講などの新たな試みとして、J:COM チャンネルにおいてテレビ講座番組を制作し放送を開始するなど従来型の講座スタイルに捉われない新しい取組を行った。

## (9) 大学院

### ア 人文科学研究科

入学者確保に関し、社会人向け入試制度の導入を決定し、具体案（社会人が出願しやすい選考方法、対象とする「社会人」の定義）を検討した。2022 年度初めの研究科委員会で審議し、2023 年度入試から導入する予定。新たな入試広報として、学内進学相談会（オンライン）を実施したほか、学内外問わず、進学希望者向けにオンライン相談・メール相談を大学ホームページから随時申込みできるようにした。

研究倫理教育に関し、7 月に大学不正防止委員会主催の研究倫理研修会に研究科院生全員が参加。また、研究科独自の研究倫理研修会を 2022 年 2 月に実施した。人文科学研究科の FD 研修会を 10 月 30 日に実施した。

### イ 健康栄養学研究科

大学院生の指導力強化と教育体制の充実のために、修士論文指導教員を 1 名増員することができた。FD (Faculty Development) 活動では、本研究科教員と大学院生及び学部学生を対象に、年 2 回、独自の研修会を継続して実施した。

修士論文などの研究指導では、コロナ禍の中でもオンラインなどで受講しやすい環境を整えて丁寧に支援を行い、その研究成果を学内及び学外の学会で発表した。

大学院の入学者確保のための広報活動では、学部学生向けに「オンライン大学院進学相談会」を実施した。さらに、大学ホームページの入試情報には、社会人や学外学生のための「オンライン相談・メール相談」を開設した。今年度は 1 名が大学院に入学し、在籍者総数は 4 名となったが、年度末には 2 名が修了することになった。今年度 2 回実施した 2022 年度大学院入試では、計 3 名の合格者を得ることができた。

「臨床栄養学分野の管理栄養士のための高度専門力育成プログラム (BP) ※」は、今年度の受講者はいなかったが、2022 年度に向けて現職者が受講しやすい環境を検討し、広報活動を継続して発信した。

大学院生の進路指導及び支援では、キャリア支援課や研究科教員間と連携し、大学院生向け

の情報を発信した。

※BP=Brush up Program for professional（職業実践力育成プログラム）：社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的とし、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な課程を文部科学大臣が認定して奨励する仕組み

### (10) 大学後援会活動及び保護者等との連携

大学後援会の活動については、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、各種行事を中止・変更せざるを得なかった。入学式終了後に行う予定であった「大学後援会入会式」は中止、5月に開催予定であった「大学後援会総会」も中止し、総会の議案については書面による議決とした。

例年、8月～9月にかけて開催している宮城県以外の東北5県を会場にした「地区後援会」についても、直前まで開催の方向で準備を進めたが、全国的な感染状況の悪化により開催を断念した。

一方で、感染状況が一旦落ち着きを見せた12月には、大学後援会特別企画として「保護者懇談会～待降節のキャンパスで～」を開催し、約2年ぶりに保護者の方々をキャンパスに迎えることができた。

在学生の保護者が、本学における教育方針や日々の教育諸活動、学生が過ごしている学内の情報を知る機会として発行している「宮城学院女子大学後援会会報」については、年1回の発行に加え、入会式の代替措置として新入学生の保護者向けに号外を発行した。

## 3. 宮城学院中学校高等学校に関する事項

### (1) 教育計画全般

ア 中学校高等学校では、建学の精神を堅持し、スクールモットーである「神を畏れ、隣人を愛する」の下に、女子教育の特色と希少性を存分に生かしつつ、時代のニーズに的確に応える教育を実践してきた。また、神の前に謙虚に真理を追究し、世界の人々と共に歩み、人類の福祉と平和のために貢献することができる人間性豊かな女性を育む教育を実践してきた。

イ 教育の三本柱としている①英語教育、②音楽教育、③グローバル・スタディーズ（グローバル教育）は本校が教科教育、生徒会活動、学校行事などを通して大切にしてきたもので、今年度もこれらを大切に学校を運営してきた。グローバル・スタディーズにおいては昨年にも引き続きSDGsに関連した取組を行ったが、これは探究課題として、「問題・課題を自ら発見し、解決する知性を持つこと」を目的として今後も継続していく。

ウ 学校教育の基本である、教員の授業力、生徒指導力の向上に努めた。今年度はオンデマンド方式の映像研修システムを導入し、教員全員でこれを活用した研修会を継続的に実施した。ICTを活用した授業を展開するため、特別に研修会を持つなど昨年度に引き続き、更なるスキルアップに努めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からGoogle Meetを用いたオンライン授業を2回（8月～9月、1月～3月）実施した。全ての教員でオンライン授業を行うためのスキルアップに向けた勉強会を行い、実践してきた。このことは対面での授業においてもICTを活用した授業実践につながった。全教科全科目において授業アンケートを行い、その上で教員に授業改善のためのレポートの提出を求め、授業方法改善に努めた。さらには、大学入試に対応した研修と授業実践を積み重ね、生徒の思考力、判断力、表現力を培う教育力を着実に身に付け、丁寧な進路指導により大学への進学実績をあげることができた。

### (2) キリスト教教育活動

キリスト教教育の要である日々の礼拝を大切にしてきた。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各教室における放送礼拝を行わざるを得なかった。宗教諸行事については延期

や中止とせざるを得ないものがあったが、オンラインシステムを活用することにより、これまでとは違った視点で展開して行く機会となった。クリスマス礼拝は事前録画・編集したものを配信すると同時に、講堂へ入堂して礼拝を守ることができた。対面で牧師から説教を聴き、讃美歌を斉唱し、キャンドルサービスを実施することができたことは大きな喜びだった。

YWCA の取組として、特別養護老人ホームや保育所等の外部施設への訪問、街頭募金などは今年度も全て中止となったが、東北・北海道地区のキリスト教学校が共同で行っているカンファレンスに参加することができ、各校と情報を共有することができた。

### (3) 学習指導

ア 教員の学習指導力向上のための研修会を実施した。教員から提出されたレポートを教員全員で共有して更なる技術向上に努めた。教科会による試験結果分析会において指導方法の検討を行い、授業方法の改善に努めた。

イ 生徒の学力向上のため、放課後学習支援室（スタディモール）を充実させ、生徒が自ら学習に向かう姿勢を持てるよう指導してきた。また、担任教員による面談を定期的に行い、学習に積極的に向かえるよう指導してきた。

ウ 今年度は3コース制の完成年度となった。選抜コース、特別進学コースについては、進学実績を目に見える形で向上させるために、スタディモールの「勉強班」を必修化するなどして、学力を伸ばす指導をしてきた。高校3年生に対して、1～2月に国公立大学二次試験対策講座を行い、入試に対する意識を持続できるようにした。

エ 2教科型入試で中学校に入学した生徒には、オンライン英語プログラムを課し、読む、聴く、話す、書くという4技能についてバランスの取れた英語力をつける教育をしている。また、英語入試で入学した生徒（E-Junior）に対しては、「グレープ・シードプログラム(英語を母語としない国の児童生徒向けの英語教育プログラム)」を用いたネイティブ教員による英会話の授業とオンライン英語プログラムに加えて日本人教員による文法の授業を展開してきた。

高等学校の英語に特化したカリキュラムを持つGC（グローバル・コミュニケーション）専攻では高い英語運用能力を身につけるため、プレゼンテーション、ディベート、アカデミックライティングなどの授業をネイティブ教員により実践してきた。全体の英語力が向上した結果、今年度は更に私大難関校への進学者が増加した。

オ 学習の基礎である読書力を身に付ける取組を、全教科にわたって行い、図書館の利用度を高めてきた。ビブリオ・バトルを今年度も継続して実施し、生徒の読書量増加につながった。

カ これまでどおり、宮城学院女子大学の講義を高校2・3年生が受講して単位を取得することができる授業を設置し、高大連携を推進してきた。あわせて、高校1・2年生で宮城学院女子大学の学部学科を理解させるための行事を実施した。

キ 大学入学共通テストの研究を各教科で進め、授業内容に反映させてきた。中学校では、中学総合学力調査を導入して指導し、思考力・表現力・判断力を高める取組を強化した。

ク 高校生のiPad学用品化が3年目となり、今年度は高校生の全ての授業で使用した。また、中学生のiPad学用品化の初年度となり、中学1年生の授業にも使用した。これらの状況を踏まえ、これまで以上に活用を推進していくために、ICT推進委員会を中心に研修会を行い、全教員がICT教育のスキルを向上させる取組を行った。あわせて、今年度もGoogle Classroomを利用した教材配信やレポート提出、教材共有による協働学習に全教科で取り組んできた。大学入試への対応として、調査書の活動記録に関する記述欄について、全生徒にClassiを用いてオンライン上で特別活動を記録させる取組を行った。また、「中学校技術」の授業の一部と、「高等学校情報」の授業にプログラミング教育を取り入れ、本年度も引き続き教材の一部にレゴマインドストーム（ロボット教材）を使用して、生徒のプログラミングに対する意識向上につながってきた。

#### (4) グローバル・スタディーズ

「総合的な学習の時間」(高等学校では「総合的な探究の時間」)において実施する「グローバル・スタディーズ」では、「世界の中の日本～SDGsの視点をふまえた学びとして～」をテーマに取り組んだ。学年ごとに内容を精査して深めていき、特に、高校2年生においては校外研修に向けた学習と連携し、より深い学びを実現することができた。まとめの際には、今年度も引き続き学用品のiPadを利用してスライドを用いたプレゼンテーションを実施するなど、各グループがその成果を発揮した。例年実施している卒業生や外部から講師を招いて行う講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とせざるを得なかった。

#### (5) 海外研修・国際交流・国際寮

本校ではカナダの Pacific Christian School、オーストラリア Westminster School との相互訪問を行っているが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から本年度も全て中止となった。このほか冬期ターム留学(3ヶ月留学)、夏期ターム留学も中止せざるを得なかった。しかし、10月に3名の長期留学生(ベトナム、タイ、インドネシア)、2月に1名の短期留学生(スイス)を受け入れることができ、国際交流を持つことができた。

高校2年生対象の海外研修旅行は今年度も中止せざるを得なかったが、防災教育に形を変え研修旅行を行うことができた。

次年度も留学生を積極的に受け入れていく。また本校生対象の海外留学プログラムについても全て実施できるよう準備を進めていく。

#### (6) 音楽教育

ミッションスクールとして、宗教音楽を大切に指導している。クリスマス礼拝を学校最大行事と位置付け、学年ごとに中学生はクリスマスキャロル、高校生はメサイアを讃美し、全学年でハレルヤコーラスを讃美している。

今年度も通常のクリスマス礼拝を実施すべく練習に取り組んだが、夏休み明けの新型コロナウイルス感染症拡大により練習時間の確保が難しく実施に至らなかった。代わりに音楽班の讃美やハンドベルクワイア、オーケストラの演奏を事前録画・編集したものを講堂にて放映する形で礼拝を守った。生徒が講堂に集い礼拝を守ることができたことは意義深く、今後も伝統をつないでいけるように取り組んでいく。

また、クリスマス礼拝の動画を YouTube で配信したことにより、在校生はもちろん、保護者、同窓生、受験生に加え、これまで宮城学院中学校高等学校に関わってくださった多くの方々と共にクリスマスを祝う豊かな時を持つことができた。

#### (7) 生徒会指導、生活指導

##### ア 生徒会指導

生徒会活動は生徒の自主性を重んじ、主体性を育成する教育活動の場として位置付けている。多様性を尊重し、他者と協働して学び続けることができる集団作りを行い、多くの行事を通じて責任と義務を全うするリーダーシップを育ててきた。これらは自らの力で問題に取り組み、解決する知性を育み、思考力、判断力、表現力を養う場として大切にしていることである。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からそれぞれの行事は縮小または形態を変更して実施せざるを得なかった。なかでも、中学校では生徒会執行部が中心となり新しい行事を企画し実施したことは、大きな収穫だった。また、高等学校では生徒会の働きかけにより、公共交通機関利用時などにおける様々なマナーに目を向けたセミナーを企画し、次年度に実施することになって

いる。今後もできることは何かを考え、前向きに歩ませる指導をしていく。

#### イ 生徒指導

学校生活アンケートを「こころとからだの健康アンケート」としてオンラインで実施した。特にオンライン授業期間中の在宅環境下における生徒たちの心身の状態や、人間関係作りの遅れや進路面での不安を把握するための質問項目を設定してアンケート回数を増やし、またその後の追跡調査も行ってきた。アンケート結果から速やかに面談の機会を持ち、生徒が心身共に健やかに充実した学校生活を送れるように、各担任のみならず全教員で対応してきた。また、スマートフォン、インターネットを巡るトラブルを避けるため、ネットパトロールを実施するとともに安全に使用するための講習会を行った。

### (8) 進路指導

新コースそれぞれの進学実績を向上させるために、各コース主事はその指導に当たってきた。各コース授業担当者が毎週会議をもち、生徒一人ひとりに合った進学指導を行ってきた。総合進学コースでは宮城学院女子大学を中心とした指定校推薦入試や総合型選抜による進学指導を丁寧に行ってきた。高等学校3年生に対して1月の終業後も受験対策の個別指導を実施し、受験生の国公立大学二次対策や私立大学受験支援を行った。

「進路の日」などの進路行事を通して、生徒のモチベーションが高まる進学指導が行えるように改善を重ね、生徒一人一人の進学を応援している。

### (9) 入試広報

入試広報部による、組織的な入試広報活動を展開してきた。今年は新たな公式 SNS アカウントを立ち上げ、生徒の学校生活の様子を配信するなどしてきた。また、ホームページを活用した情報公開に努め、更新回数を増やした。

今年度はオープンキャンパスや学校説明会などの学内で行う広報行事を全て対面形式で実施することができた。また、少人数を対象として土曜個別入試説明会も実施した。しかし、例年実施される学外団体主催の学校説明会は今年度も全て中止となり、通塾する受験生への広報活動が十分に実施できなかった。市内の各中学校を訪問し、宮城学院高等学校への関心と理解を高めるよう努めた。また、英語入試受験生を増やすために、小学生を対象とした「チャレンジ・イングリッシュ」を本年度も実施した。こうした広報活動により高等学校推薦入試では昨年度の倍近い受験生を得ることができた。

### (10) スクールバス

現スクールバス運行路線（北東部方面、古川方面、愛子方面）を継続して運行してきたが、今後は、料金改定を念頭に置きながら、経費を可能な限り削減しつつ、運行経路、運行形態について検討していく。

### (11) その他

地域の自治会、公立小・中学校との信頼関係を大切にするとともに、留学生との交流などを推進し、地域から愛される学校として、地域の人々との交流、協力関係を深める努力を続けた。引き続き、新しいブランドイメージにつながるよう努力していく。

## 4. 宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」に関する事項

### (1) こども園 0～5歳児の保育

1月にコロナウイルス感染者が出て4日間を休園したが、必要な情報や連絡をメールで配信し、

直後の参観日は動画配信とした。今年度が始まった時に中止した参観に関しては、後日、フリー参観として少人数の保護者に通常の保育を直接見ていただいた。映像や写真で見ていた子どもの世界が良く理解できたと高評価だった一方で、参観期間が長くなり子どもたちや保育者には負担を与えた。通常の保育はホームページ等で発信したが、保護者だけではなく、入園を希望される方もよく見ていたようで、影響力の大きさを感じている。四季折々の自然が広がる森や園庭での遊びは、コロナ禍の世界であるのを忘れるぐらい、子どもたちの遊びが広がった。運動会は、時間を短くして3歳以上児が北園庭で行い、クリスマス会は2日間で4グループが縦割りでを行い、全員の保護者にも見てもらえる形とした。また、森の芸術祭や森の音楽会を北園庭で行うなど、できることは積極的に行う姿勢で取り組んだ1年でもあった。

## (2) 食育

玉浦西まちづくり住民協議会の皆様のご協力の下、子どもたちと相談して「紅あずま」「紅はるか」2種類のサツマイモを畑で栽培し、収穫したサツマイモを野外炊飯場で焼き芋にして味比べをした。子どもたちでも味の違いが分かり楽しい企画となった。焼き芋以外にも子どもたちの要望を聞き、みそ汁やパリパリサラダ、スイートポテトなどを給食として食べた結果、食べることを楽しみにするようになった。子どもたちは畑で野菜の成長を見て、収穫したものを食べ新鮮なおいしさが分かるようになった。家庭では全く野菜を食べない子どもたちが多い中で、好きなおかずに「カレー・ピクルス」がランクインしたことは嬉しい成果だった。さらに、食べることを話題にする子が増え、給食に出たおかずのレシピを栄養士にもらいにくる子も多くいる。

## (3) 子育て支援

親子で0歳～2歳児が年齢ごとに参加する「どんぐりクラブ」は人気の事業だが、今年度は感染予防として参加人数を半数にし、就園前の2歳児を3グループ毎週1回の企画とした。1歳児は2グループを月2回、0歳児は月2回4か月間として年3回グループメンバーを募集した。幼保連携型のこども園として行わなければならない事業だが、感染拡大により中止した期間もあった。逆に子育て相談は、家庭にいる親子にとって悩みが深くなりがちなので、できる限り対面で行うようにした。

## (4) 児童クラブ「森の家」 小学校1年～4年 24人（桜丘・川平・北仙台・長命ヶ丘・上杉山通・加茂・宮城教育大付属）

この1年間は小学校等のコロナウイルスの感染拡大により、児童クラブへの登園を自粛していただくこともあり、外部からの講師を呼ぶ楽しい企画も出来ない状況だった。本学の学生との交流も直前に中止になった。普段の生活は学校から3時半ぐらいに登園し、宿題や自分の課題を行った後に好きな遊びをしていた。長期休業中は8時から19時までの間で利用する。児童クラブとして畑で野菜を栽培し、野外炊飯場でカレーを作って食べる活動は、やはり楽しい企画だった。

## 5. 宮城学院女子大学附属音楽教室に関する事項

### (1) 教育について

コロナ禍でも音楽教育活動を止めないために、大学施設での対面レッスンができない時期には、教師宅での対面レッスンを可能にし、大学施設での対面レッスン、遠隔（オンライン）レッスン及び教師宅での対面レッスンの3つの方法で、教室生と教師の安全に留意しながら教育を続けることができた。

今年度から新たにスタートしたワンレッスン受講は、学校生活で忙しい中高生が、臨時的に習える良い制度となり、部活動で始めたばかりの楽器演奏の基礎の習得に役立った。また、ソルフェー

ジュの受験生向けのクラスは、音楽科生のソルフェージュ補習として、音楽の基礎力向上のために活用することができた。昨年度 1 年間実施できなかった弦楽アンサンブルの授業も、後期は全回数を学校で行うことができた。

教師は、今年度から新たにピアノ部門とヴァイオリン部門に 5 名加わった。コロナとともに、コロナの後に、本当の意味で音楽教室にとって新しい時代が到来することを踏まえて、現在まで長く音楽教室教育に携わってきた教師が、新しく加わった若手の教師たちに、本音楽教室の理念を伝えつつ、教師として成長してもらおう手助けをもお願いできる機会も持つことができた。

音楽科へは、声楽専攻者 1 名の来年度入学が決まった。

## (2) 行事について

### ア 発表会

9 月に開催予定だった発表会は、コロナの感染第 5 波の煽りにて開催が叶わなかったため、10 月に音楽館ハンセンホールにて、3 週にわたり、少人数ずつのステージリハーサルの会を開催した。観客は保護者のみという形だったが、約 1 年半ぶりのホールでの演奏は、教室生にとっても刺激になった。また、昨年度行えなかったエチュードテスト（ピアノ）も、2 月に感染対策を取りながら開催することができた。ソルフェージュ部門では、3 月には 3 年ぶりの期末テスト、そして、コロナ禍になって初めての小学生のグループ授業も実施できた。これらは、これまでの学習の成果を確認し、教師生徒そして常に見守って下さる保護者の方々にも、来期の学習への希望を見出すことができた。

### イ クリスマスコンサート

10 年来毎年行ってきたショッピングモールタピオ（仙台市泉区）でのクリスマスコンサートが、2 年ぶりに開催された。今年度は教室生のアンサンブル出演が難しかったために、新しく加わった新教師 5 名による『音楽教室教師によるコンサート』を行った。

実力もある教師たちの演奏には、たくさんの方々が足を止めて聴いてくださった。地域の皆様に親しみやすいプログラムで行ったが、声楽については、残念ながらコロナのためプログラムに入れることはできなかった。

### ウ 広報について

昨年度はコロナの影響で入室者 1 名にとどまったのに対し、今年度は Zoom での面接も積極的に行い、スピーディーな対応が生徒獲得につながり、新入室生は 16 名を数えた。コロナ禍でも立ち止まらず前進し続ける音楽教室を知っていただくために、来年度からの多くの変更も分かりやすく、目にとめていただけるよう、コロナだからこそ音楽は大事なのだというメッセージを込めたチラシを作成し、情報誌への折り込みも行った。HP もより見やすくリニューアルした。

今までの広報だけでなく、前述の教師コンサートも含めて新しくなっていく音楽教室をアピールすることができた。

## 6. キリスト教センターに関する事項

キリスト教センターでは、キリスト教センター及び大学宗教センターの事業を以下のとおり実施した。

- (1) 全学院の年度聖句「命のある限り 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。」（詩編 23 編 6 節）の学内掲示及び刊行物への掲載を行った。
- (2) 全学院教職員礼拝（原則毎月第 3 水曜日 16:30~17:00）の定期礼拝（4/21、5/26、6/23、7/14、10/20、11/24、2/9）のほか、特別礼拝として、新年礼拝（1/4）、東日本大震災記念礼拝（3/11）を行った。

- (3) クリスマス事業として予定されていた「クリスマス・チャペルコンサート」「クリスマスマーケット」は中止になったが、例年開催される「公開クリスマス礼拝」を「全学院クリスマス礼拝」(12/17)として本学院内の出席者に限定し行った。そのほか、クリスマス・キャンパス装飾(11/1～1/5)、クリスマス・イルミネーション点灯式(11/8)、宮城学院クリスマスカードの製作、大学宗教センターと併せてクリスマス献金(11/22～12/20)も実施した。
- (4) キリスト教講座は3回(11/15、12/23、1/20)開催した。
- (5) ハートフルボランティア・サポート事業として、団体の募集、審査を行い、大学3グループ、中高2グループに助成金を交付し、ボランティア活動を支援した。また、活動報告会は開催せず、報告書を刊行した。
- (6) 学院内外の説教担当者が一堂に会する礼拝説教者懇談会を3月に開催予定であったが、コロナウイルスの感染予防のため中止した。
- (7) 刊行物として、宮城学院教職員礼拝説教集『GLORY TO GOD』(80号、81号、82号)、『礼拝ガイドブック2022』、『チャペルガイド2022』、『ハートフルボランティア報告書2021』を作成し、教職員や関係機関に寄贈・送付した。
- (8) 学生(教職員)の定期礼拝(授業開講期の月・水・金曜日のうち週2回12:10～12:30)を49回(前期25回、後期24回)実施、そのほかに動画配信による礼拝も守った。特別礼拝としてクリスマス礼拝(12/9～)の動画配信を行った。なお、3月16日に開催した卒業礼拝の説教原稿を『あかり』(大学礼拝説教・特別行事講演収録集)にも掲載した。
- (9) 特別行事であるキリスト教教育特別集会は事前撮影した動画を配信(6/10～)する形で実施。講演原稿を『あかり』に掲載した。ガイダンスとして、音楽科ピアノ履修の4年生を対象とした礼拝奏楽者ガイダンス(4/7)を実施し、新入生対象のキリスト教センターガイダンスは実施しなかった。
- (10) 大学礼拝説教・特別行事講演の収録集『あかり』を作成し、全学生・教職員に配付、また関係機関に寄贈・送付した。また6月より『MGU Chapel Letter』を毎月発行し、学内に配信した。
- (11) 大学YWCAは、読書会、絵本の展示(大学宗教センター共催)、全学院クリスマス礼拝および大学クリスマス礼拝でのキャンドルサービス・献金奉仕、自主講座を実施した。バザー、切手回収、課外活動は中止とした。
- (12) 大学ハンドベルクワイアの活動については、ハンドベルフェスティバル、宮城県ハンドベルコンサート、教会礼拝等における賛美演奏奉仕が中止となった。感染防止に配慮して学内活動を行い、ショッピングセンターでのクリスマスコンサートに出演した。
- (13) 大学聖歌隊は、大学礼拝における教会暦賛美奉仕を中止した。オンライン等、感染防止に配慮した学内活動を行い、第3回定期演奏会(12/11)を開催した。

## 7. 資料室に関する事項

### (1) 資料整理・調査

資料の整理として、中性紙封筒に収められ資料室キャビネットに収蔵されている貴重資料を確認し、見出しを作りデータ入力した。また、資料室倉庫(C104)にあるこれまでに刊行された『資料室年報』を整理し、在庫数を確認した。

人間文化学科大平聡教授の学校日誌調査(丸森町の統廃合が決まった小学校)に同行し、資料整理の仕方について学んだ。

調査として、1921(大正10)年～1940(昭和15)年に宮城女学校から発行された文学冊子『橄欖』の書誌および目次を一覧にし、資料室年報で発表することができた。また、中高倉庫より発見された「学籍簿」(昭和16年度～昭和19年度)をデータ入力し、その中の「昭和18年度卒業生」についての考察を、資料室年報で発表することができた。



(2) レファレンス

レファレンスは、14 件となった。学外からは日本放送協会（NHK）、東北学院大学、日本基督教団八戸小中野教会等、学内では大学教員、中高教諭、職員からの問合せがあり、調査回答した。また、資料公開、紹介、研究のための準備資料を整える役割を担い、特に大学の授業科目である特殊研究（宮城学院女子大学の歴史）の最終回で授業協力、教職員対象の「自校史勉強会」への開催協力を行い、宮城学院の歴史を知ってもらう取組を行った。

(3) 講話依頼

創立記念行事の一つとして、中学 2 年生に「宮城学院の歴史」について講話を行った。

(4) 出版物等

『資料室年報 第 27 号』刊行

- 目次・『橄欖』成立の歴史とそこに見る生徒の自主 一般教育部教授 小羽田誠治
- ・あらたなる希望の花を胸に秘め—宮城女学校生徒による短歌の世界（1910 年～1940 年）— 一般教育部准教授 栗原 健
- ・『橄欖』第 1 号～第 21 号における書誌および目次一覧 資料室 佐藤亜紀
- ・1943（昭和 18）年度卒業生の学籍簿—宮城高等女学校の「学校挺身隊」— 資料室 佐藤亜紀
- ・宮城学院の植物たち その 3 —トチノキ— 一般教育部教授 木村春美

(5) その他

1999 年にカンサス大学から寄贈された、いわゆる「ハンセン資料」のデジタル化を進め、マイクロフィルム 60 巻のうち No.44、45 をデータ化した。

### Ⅲ. 財務の概要

教育活動収支はまさしく本業である学校本来の教育研究活動によるもので、その教育活動収支差額は基本的にはプラスとなるべきである。2021年度法人全体としては75,599千円とプラスになっている。また、教育活動外収支差額は95,377千円、経常収支差額は170,976千円となっている。以下、本年度決算の概要について報告する。

#### 1. 事業活動収支計算書

当該会計年度の収支を経常的な収支と特別な収支(臨時的収支)に区分し、経常的な収支については、本業である教育活動収支と、財務活動を中心とする教育活動外収支に分けて、内容を明らかにするとともに、当該会計年度の基本金組入額を控除して事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としている。

##### (1) 教育活動収支

教育活動収入計は、昨年比26,191千円減の5,120,132千円となった。教育活動支出計は、昨年比304,211千円増の5,044,533千円となった。教育活動支出の主なものとして、人件費は昨年比70,029千円増の2,951,512千円、教育研究経費は昨年比253,524千円増の1,793,438千円、管理経費は昨年比24,895千円減の290,110千円となった。

教育活動収入計から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、昨年比330,402千円減の75,599千円となった。

##### (2) 教育活動外収支

教育活動外収入計は、全て受取利息・配当金で昨年比4,323千円減の95,808千円となっている。教育活動外支出計は全て借入金等利息で432千円である。

以上により、教育活動外収支差額は、昨年比4,221千円減の95,377千円となっている。

##### (3) 特別収支

特別収入計は、昨年比9,335千円減の8,733千円となった。これは、その他の特別収入の内、施設設備補助金として中学校・高等学校の研究設備整備費補助金等が採択となったことによる2,655千円である。

特別支出計は、196,778千円となった。これは、旧大学寮の売却や車両及び図書除却等によるものである。

以上、特別収入計から特別支出計を差し引いた特別収支差額は△188,045千円となっている。

##### (4) 基本金組入額

基本金は、全体で194,800千円を組入れた。第1号基本金は、主に固定資産取得等によるもので201,405千円を組入れた。第2号基本金は、大学研究室冷房設備設置資金50,000千円を組入し、人文館2階・講義館2階改修工事等に学術情報館等建設資金から78,055千円を取崩した。第3号基本金は、奨学基金20,000千円、教育基金1,450千円を組入れた。

##### (5) 当年度収支差額及び翌年度繰越収支差額

当年度収支差額は△211,868千円となり、翌年度繰越収支差額は△1,721,972千円となっている。

#### 2. 資金収支計算書

当該会計年度に行う諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金をいう。)の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的としている。

(1) 2021年度の資金収入は、前年度繰越支払資金1,847,136千円を含めた資金収入全体が8,069,670千円となり、前年度と比べて657,220千円増となった。資金収入から支出合計5,811,615千円を控

- 除した翌年度繰越支払資金は、2,258,055千円となり、前年度と比較し410,919千円の増となった。
- (2) 収入の部では、学生生徒等納付金収入、手数料収入は事業活動収支計算書の収入と同じである。新入生数に関する納付金等の前受金収入は、昨年比25,196千円増の678,052千円となった。その他の収入には、各引当特定資産からの取崩収入が含まれている。
- (3) 支出の部では、人件費支出には退職金支出370,961千円が含まれている。借入金等返済支出は、さくら寮の建設資金借入返済を含め132,840千円となっている。施設関係支出は196,866千円で、前年度と比べ68,988千円増となった。設備関係支出は前年度比38,818千円増の102,463千円となった。資産運用支出は、減価償却引当資産等に775,153千円を繰入れた。

### 3. 貸借対照表

貸借対照表は、資産の部、負債の部、純資産の部で構成され、当該年度末の財政状態を表すことを目的としている。

- (1) 資産の部は、合計24,435,508千円となり、前年度末24,398,050千円から37,457千円増となった。有形固定資産は前年度末11,102,414千円から403,370千円減の10,699,044千円、特定資産は前年度末10,688,203千円から10,831千円増の10,699,034千円、その他の固定資産は前年度末498,193千円から59,674千円減の438,519千円となった。なお、流動資産は前年度末2,109,239千円から489,672千円増の2,598,911千円となっている。
- (2) 負債の部は、固定負債の長期借入金が674,320千円、流動負債の短期借入金が112,840千円等により負債の部合計は、前年度末3,215,564千円より54,526千円増の3,270,090千円となった。
- (3) 純資産の部の基本金は、全体で22,887,390千円となり、前年度末比で第1号基本金は201,406千円増、第2号基本金は28,056千円減、第3号基本金は21,450千円の増である。繰越収支差額の翌年度繰越収支差額は、△1,721,972千円となった。
- (4) 資産の部合計24,435,508千円から負債の部合計3,270,090千円を差し引いた純資産の部合計は21,165,418千円となり、純資産構成比率(旧会計基準：自己資金構成比率)は前年度より上昇し86.6%となった。また、運用資産の蓄積度を示す内部留保資産比率は、39.6%(前年度38.2%)となった。なお、新学校法人会計基準で新設された積立率(運用資産/要積立額)は、学校法人の将来の確定的債務や奨学金の原資となる基金について、どの程度保有資産の裏付けがあるかを示す比率であるが、93.1%となっている。

## 過去5年間の推移及び構成比率

### 1. 事業活動収支計算書関係

#### (1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	3,587,878	3,657,427	3,885,319	3,916,804	3,861,157
	手数料	57,155	59,370	60,360	52,143	50,196
	寄付金	66,551	40,740	45,324	71,621	78,387
	経常費等補助金	644,925	728,048	675,760	896,506	849,157
	付随事業収入	8,013	10,075	15,678	13,282	14,108
	雑収入	155,523	228,667	131,453	195,967	267,127
	教育活動収入計	4,520,045	4,724,327	4,813,894	5,146,323	5,120,132
	事業活動支出の部					
	人件費	2,971,147	2,961,120	2,804,149	2,881,484	2,951,512
	教育研究経費	1,320,784	1,335,919	1,523,577	1,539,914	1,793,438
	管理経費	288,162	270,675	329,636	315,005	290,110
	徴収不能額等	585	715	3,802	3,920	9,473
	教育活動支出計	4,580,678	4,568,429	4,661,164	4,740,323	5,044,533
	教育活動収支差額	△ 60,633	155,897	152,731	406,001	75,599
	教育活動外収支	事業活動収入の部				
受取利息・配当金		112,217	107,306	99,995	100,132	95,808
その他の教育活動外収入		0	0	0	0	0
教育活動外収入計		112,217	107,306	99,995	100,132	95,808
事業活動支出の部						
借入金等利息		1,272	761	686	534	432
その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0
教育活動外支出計		1,272	761	686	534	432
教育活動外収支差額	110,945	106,545	99,309	99,598	95,377	
経常収支差額	50,312	262,442	252,040	505,599	170,976	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	10	0	0
	その他の特別収入	9,424	18,532	12,303	18,068	8,733
	特別収入計	9,424	18,532	12,313	18,068	8,733
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	8,969	7,461	10,300	10,499	195,306
	その他の特別支出	86,499	86,153	86,197	87,683	1,472
	特別支出計	95,468	93,614	96,497	98,182	196,778
特別収支差額	△ 86,044	△ 75,082	△ 84,184	△ 80,115	△ 188,045	
基本金組入前当年度収支差額	△ 35,732	187,360	167,856	425,484	△ 17,068	
基本金組入額合計	△ 272,420	△ 245,209	△ 172,315	△ 221,071	△ 194,800	

当年度収支差額	△ 308,151	△ 57,849	△ 4,460	204,413	△ 211,868
前年度繰越収支差額	△ 1,344,057	△1,652,208	△ 1,710,057	△1,714,517	△1,510,104
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,652,208	△1,710,057	△ 1,714,517	△1,510,104	△1,721,972

(参考)

事業活動収入計	4,641,686	4,850,164	4,926,202	5,264,523	5,224,674
事業活動支出計	4,677,417	4,662,804	4,758,348	4,839,039	5,241,742

(2) 財務比率の経年比較

	比率	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	人件費比率	64.1%	61.3%	57.1%	54.9%	56.6%
2	人件費依存率	82.8%	81.0%	72.2%	73.6%	76.4%
3	教育研究経費比率	28.5%	27.6%	31.0%	29.4%	34.4%
4	管理経費比率	6.2%	5.6%	6.7%	6.0%	5.6%
5	借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	事業活動収支差額比率	-0.8%	3.9%	3.4%	8.1%	-0.3%
7	基本金組入後収支比率	107.1%	101.3%	100.1%	95.9%	104.2%
8	学生生徒等納付金比率	77.5%	75.7%	79.1%	74.7%	74.0%
9	寄付金比率	1.6%	1.0%	1.0%	1.5%	1.6%
10	経常寄付金比率	1.4%	0.8%	0.9%	1.4%	1.5%
11	補助金比率	13.9%	15.3%	13.8%	17.2%	16.3%
12	経常補助金比率	13.9%	15.1%	13.8%	17.1%	16.3%
13	基本金組入率	5.9%	5.1%	3.5%	4.2%	3.7%
14	減価償却額比率	9.1%	9.0%	9.0%	8.8%	8.0%
15	経常収支差額比率	1.1%	5.4%	5.1%	9.6%	3.3%
16	教育活動収支差額比率	-1.3%	3.3%	3.2%	7.9%	1.5%

## 2. 資金収支計算書関係

### (1) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	3,587,878	3,657,427	3,885,319	3,916,804	3,861,157
手数料収入	57,155	59,370	60,360	51,912	50,196
寄付金収入	64,436	40,572	42,698	68,228	74,785
補助金収入	644,925	740,467	682,047	905,942	851,812
資産売却収入	0	0	127	0	70,010
付随事業・収益事業収入	24,528	25,422	48,072	45,946	46,681
受取利息・配当金収入	112,217	107,306	99,995	100,132	95,469
雑収入	153,737	227,844	130,084	198,906	266,121
借入金等収入	0	90,000	0	0	0
前受金収入	669,503	746,970	716,159	652,856	678,052
その他の収入	800,715	638,593	779,239	673,918	1,157,203
資金収入調整勘定	△ 819,155	△ 914,034	△ 864,006	△ 902,443	△ 928,952
前年度繰越支払資金	1,761,145	1,582,488	1,530,417	1,700,249	1,847,136
収入の部合計	7,057,084	7,002,425	7,110,512	7,412,450	8,069,670

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	2,985,266	2,981,244	2,835,458	2,895,260	3,012,744
教育研究経費支出	926,055	945,289	1,130,957	1,145,687	1,399,961
管理経費支出	242,811	238,579	295,322	283,076	268,567
借入金等利息支出	1,272	761	686	534	432
借入金等返済支出	160,840	150,840	144,840	132,840	132,840
施設関係支出	34,309	195,008	90,359	127,878	196,866
設備関係支出	79,843	96,895	137,282	63,645	102,463
資産運用支出	869,275	807,778	677,115	799,885	775,153
その他の支出	283,134	255,634	319,083	326,119	310,999
資金支出調整勘定	△ 108,209	△ 200,021	△ 220,840	△ 209,609	△ 388,410
翌年度繰越支払資金	1,582,488	1,530,417	1,700,249	1,847,136	2,258,055
支出の部合計	7,057,084	7,002,425	7,110,512	7,412,450	8,069,670

### (2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	4,527,690	4,735,547	4,840,842	5,174,372	5,147,190
教育活動資金支出計	4,153,634	4,164,958	4,261,541	4,322,340	4,679,800
差引	374,056	570,588	579,301	852,032	467,390
調整勘定等	161,720	△ 11,871	126,937	△ 106,098	36,366
教育活動資金収支差額	535,776	558,717	706,238	745,933	503,755
施設整備等活動による資金収支					

施設整備等活動資金収入計	32,320	46,080	203,976	145,238	353,741
施設整備等活動資金支出計	602,733	711,494	639,796	597,576	743,497
差引	△ 570,413	△ 665,414	△ 435,820	△ 452,339	△ 389,756
調整勘定等	0	75,876	△ 13,840	△ 39,701	76,780
施設整備等活動資金収支差額	△ 570,413	△ 589,538	△ 449,660	△ 492,040	△ 312,977
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 34,637	△ 30,821	256,578	253,894	190,779
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	575,917	662,638	442,991	530,086	787,613
その他の活動資金支出計	719,937	683,888	529,738	637,092	567,473
差引	△ 144,020	△ 21,250	△ 86,747	△ 107,006	220,140
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 144,020	△ 21,250	△ 86,747	△ 107,006	220,140
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 178,657	△ 52,071	169,831	146,888	410,919
前年度繰越支払資金	1,761,145	1,582,488	1,530,417	1,700,249	1,847,136
翌年度繰越支払資金	1,582,488	1,530,417	1,700,249	1,847,136	2,258,055

（３）財務比率の経年比較

	比率	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	教育活動資金収支差額比率	11.8%	11.8%	14.6%	14.4%	9.8%

### 3. 貸借対照表関係

#### (1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位 千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	21,888,433	22,169,614	22,205,974	22,288,810	21,836,596
流動資産	1,785,284	1,848,292	1,890,916	2,109,239	2,598,911
資産の部合計	23,673,717	24,017,906	24,096,890	24,398,050	24,435,508
固定負債	2,278,510	2,276,152	2,197,731	2,136,765	1,992,152
流動負債	993,420	1,152,607	1,142,157	1,078,798	1,277,938
負債の部合計	3,271,930	3,428,759	3,339,889	3,215,564	3,270,090
基本金	22,053,995	22,299,204	22,471,519	22,692,590	22,887,390
繰越収支差額	△1,652,208	△1,710,057	△1,714,517	△1,510,104	△1,721,972
純資産の部合計	20,401,787	20,589,147	20,757,002	21,182,486	21,165,418
負債及び純資産の部合計	23,673,717	24,017,906	24,096,890	24,398,050	24,435,508

#### (2) 財務比率の経年比較

	比率	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	固定資産構成比率	92.5%	92.3%	92.2%	91.4%	89.4%
2	有形固定資産構成比率	49.7%	48.3%	47.2%	45.5%	43.8%
3	特定資産構成比率	40.4%	41.6%	42.7%	43.8%	43.8%
4	流動資産構成比率	7.5%	7.7%	7.8%	8.6%	10.6%
5	固定負債構成比率	9.6%	9.5%	9.1%	8.8%	8.2%
6	流動負債構成比率	4.2%	4.8%	4.7%	4.4%	5.2%
7	内部留保資産比率	33.2%	33.7%	35.9%	38.2%	39.6%
8	運用資産余裕比率	211.8%	220.4%	228.3%	238.8%	222.3%
9	純資産構成比率	86.2%	85.7%	86.1%	86.8%	86.6%
10	繰越収支差額構成比率	-7.0%	-7.1%	-7.1%	-6.2%	-7.0%
11	固定比率	107.3%	107.7%	107.0%	105.2%	103.2%
12	固定長期適合率	96.5%	97.0%	96.7%	95.6%	94.3%
13	流動比率	179.7%	160.4%	165.6%	195.5%	203.4%
14	総負債比率	13.8%	14.3%	13.9%	13.2%	13.4%
15	負債比率	16.0%	16.7%	16.1%	15.2%	15.5%
16	前受金保有率	236.1%	204.9%	237.4%	282.9%	333.0%
17	退職給与引当特定資産 保有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
18	基本金比率	106.8%	106.7%	106.9%	110.1%	107.6%
19	減価償却比率	53.8%	55.2%	56.9%	58.6%	59.8%
20	積立率	87.6%	87.6%	88.3%	89.4%	93.1%



#### 4. その他

##### (1) 有価証券の状況

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	5,995,416,126	6,063,682,300	68,266,174
時価のない有価証券	2		
有価証券合計	5,995,416,128		

##### (2) 借入金の状況

借入先	期末残高 (円)	利率	返済期限等
日本私立学校振興共済事業団	399,960,000	1.50%	2030年9月15日
七十七銀行長命ヶ丘支店	115,600,000	0.11%	2029年3月25日
仙台銀行桜ヶ丘支店	63,000,000	0.06%	2029年3月25日
三井住友信託銀行仙台支店	160,600,000	0.10%	2028年3月30日
三井住友信託銀行仙台支店	48,000,000	0.08%	2025年3月31日
合計額	787,160,000		

##### (3) 学校債の状況

学校債は発行していない。

##### (4) 収益事業の状況

収益事業は行っていない。

## IV. 資料

### 1. 理事会、評議員会の開催状況

#### (1) 理事会の開催状況

開催年月日	議 題
2021（令和3）年 5月25日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>2020年度事業報告（案）について</li> <li>2020年度決算（案）について</li> <li>2020年度資産運用報告について</li> <li>2021年度入学者数減への対応について</li> <li>寄附行為の一部改正について</li> <li>宮城学院女子大学学則の改定について</li> <li>名誉教授称号の授与について</li> <li>学院長候補者選考委員会の設置について</li> <li>寄附行為第28条第1項第1号評議員（教職員）の選任について</li> <li>寄附行為第28条第1項第4号評議員（学識経験者）の選任について</li> <li>寄附行為第8条第1項第6号理事（教職員評議員選出）の選任について</li> </ol>
7月27日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>次期学院長の選任について</li> <li>2021年度補正予算（案）について</li> <li>旧大学寮（橄欖寮）の売却について</li> </ol>
9月28日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>2022年度予算編成方針案について</li> <li>宮城学院ガバナンス・コードの策定について</li> </ol>
11月30日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>次期学院長の選任について</li> <li>宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」園則の改定について</li> <li>学校法人ガバナンス改革会議（文部科学省）における検討状況について（報告）</li> </ol>
2022（令和4）年 1月25日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>2021年度第2次補正予算（案）について</li> </ol>
3月15日（火） （定期）	<ol style="list-style-type: none"> <li>2022年度事業計画（案）について</li> <li>2022年度予算（案）について</li> <li>宮城学院中学校学則改定について</li> <li>宮城学院高等学校学則改定について</li> <li>宮城学院経理規程の一部改正について</li> <li>監事監査意見について</li> <li>宮城学院女子大学公的研究費の不正使用防止の取組について</li> <li>役員に対する補償契約について</li> <li>役員賠償責任保険契約について</li> </ol>

#### (2) 常任理事会の開催状況

開催年月日	議 題
2021（令和3）年 4月6日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>2021年度大学教務嘱託職員（食品栄養学科助手）の採用について</li> <li>帳簿書類の電子化に伴う関連規程の制定について</li> <li>2020年度内部監査報告について（報告）</li> </ol>

4月20日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学専任教員の退職について</li> <li>2. 2021年度中高特任教員の契約更改について</li> <li>3. 寄附行為の一部改正について</li> <li>4. 宮城学院女子大学学則の改定について</li> <li>5. 宮城学院女子大学新型コロナウイルス感染症学生支援策実施要項について</li> <li>6. 2021年度資金運用計画について</li> <li>7. 2020年度大学経常費補助金の総括について(報告)</li> <li>8. 2020年度中高運営費補助金の総括について(報告)</li> </ol>
5月11日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年度事業報告(案)について</li> <li>2. 2020年度決算(案)について</li> <li>3. 小規模園との連携に関する協定書(こども園)について</li> </ol>
5月18日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年度事業報告(案)について(継続)</li> <li>2. 2020年度決算(案)について(継続)</li> <li>3. 2020年度資産運用報告について</li> <li>4. 2021年度入学者数減への対応について</li> <li>5. 2021年度中高非常勤講師(保健体育科・水泳担当)の採用について</li> <li>6. 寄附行為第28条第1項第1号評議員(教職員)の補充について</li> <li>7. 寄附行為第28条第1項第4号評議員(学識経験者)の補充について</li> </ol>
6月1日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学教員採用計画の申請について</li> <li>2. こども園への労働基準監督署からの是正勧告等について</li> <li>3. 2021年度監事監査計画について</li> <li>4. 2021年度内部監査計画(定期監査)について</li> </ol>
6月8日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専任事務職員の退職について</li> <li>2. 事務嘱託職員(キャリア支援課)の退職について</li> <li>3. 2021年度こども園嘱託保育教諭の採用について</li> <li>4. 2021年度一時金について</li> <li>5. センタースイッチ他ネットワーク機器更新に係るリース契約について</li> <li>6. サーバー及び周辺機器更新に係るリース契約について</li> </ol>
6月15日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中高専任教員の退職について</li> <li>2. 2022年度大学教員採用計画の申請について</li> <li>3. 宮城学院女子大学インスティテューショナル・リサーチ規程の制定について</li> <li>4. 大学組合への発出文書について</li> </ol>
6月29日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中高専任教員の退職に伴う選択定年制の適用について</li> <li>2. 専任事務職員の介護休業について</li> <li>3. 人文館・実習館防水改修及び外壁改修工事の契約について</li> <li>4. 家政館防水改修及び外壁改修工事の契約について</li> <li>5. 体育館カーテンウォール改修工事の契約について</li> <li>6. 大学講堂舞台照明設備更新修繕工事の契約について</li> <li>7. 中高講堂舞台照明設備更新修繕工事の契約について</li> <li>8. 学生センター小ホール舞台照明設備更新工事の契約について</li> </ol>
7月12日(月)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学組合への発出文書(2021年度一時金)について</li> </ol>
7月13日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度補正予算(案)について</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 旧大学寮（橄欖寮）の売却について</li> <li>3. 2021年度こども園嘱託保育教諭の採用について</li> <li>4. 2021年8月事務局人事について</li> <li>5. 2022年度再雇用について</li> <li>6. 2022年度事務職員採用計画について（申請）</li> <li>7. こども園への労働基準監督署からの追加指導について</li> </ol>
7月20日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度補正予算（案）について（継続）</li> <li>2. 2021年度こども園の退職者について</li> <li>3. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用計画について</li> <li>4. 2021年度こども園非常勤保育教諭の採用計画について</li> </ol>
8月3日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学専任教員（日本文学科）「日本語学・日本語史担当」の採用について</li> <li>2. 2022年度大学専任教員（人間文化学科）「日本近世史担当」の採用について</li> <li>3. 2022年度業務限定正教員（大学）の採用について</li> <li>4. 2021年度事務嘱託職員（キャリア支援課）の採用について</li> <li>5. 2022年度中高教員採用計画について</li> <li>6. 2022年度特別研修休暇について（申請）</li> <li>7. 2022年度国内研修員の推薦について</li> <li>8. 人文館2階他改修工事に関する追加工事の契約について</li> <li>9. 大学組合への発出文書について</li> <li>10. こども園への労働基準監督署からの是正勧告等について</li> </ol>
8月6日（金）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度大学一号特任教員（一般教育部）「法学」担当の採用について</li> <li>2. こども園の小規模園との連携に関する協定締結について</li> </ol>
8月25日（水）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学組合への発出文書（2021年度一時金）について</li> </ol>
8月31日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2023年度大学一号特任教員「教職センター主任」担当の採用について</li> <li>2. 2021年度事務職員採用計画（応募資格の変更）について</li> <li>3. 東日本大震災により被災した学生生徒等に係る授業料等の減免に関する規程の一部改正について（中学校・高等学校）</li> <li>4. 講義館外壁改修工事に関する追加工事の契約について</li> <li>5. 中高教職員組合の要求への回答について</li> <li>6. 2021年度教職員永年勤続者の表彰について</li> <li>7. 2021（令和3）年度人事院勧告について（報告）</li> <li>8. 2022（令和4）年度文部科学省概算要求について（報告）</li> </ol>
9月14日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度予算編成方針案について</li> <li>2. 宮城学院ガバナンス・コードの策定について</li> <li>3. 宮城県最低賃金の改定に伴う学内対応について</li> <li>4. 大学研究室冷房化工事について</li> <li>5. 令和4年春生存者叙勲候補者（一類）の推薦について</li> <li>6. こども園への労働基準監督署からの是正勧告等について</li> <li>7. 中高教職員組合の要求への回答について（継続）</li> </ol>
9月21日（火）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度予算編成方針案について（継続）</li> <li>2. 宮城学院ガバナンス・コードの策定について（継続）</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 専任事務職員の介護休業延長について</li> <li>4. 大学組合・副手組合への発出文書について</li> </ul>
9月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用計画について</li> </ul>
10月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学専任教員(生活文化デザイン学科)「建築環境学」担当の採用について</li> <li>2. 2022年度大学教員採用計画(再募集)について</li> <li>3. 2022年度こども園非常勤保育教諭(保育補助等30時間)の採用計画について</li> <li>4. 2022年度中高契約教員採用計画(再募集)について</li> <li>5. 宮城学院高等学校授業料減免規程の一部改正について</li> <li>6. 内壁タイル脱落対策調査業務の契約について</li> <li>7. 大学組合・副手組合への発出文書について</li> </ul>
11月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 大学専任教員の退職について</li> <li>2. 2022年度大学専任教員(教育学科)「社会福祉学(ソーシャルワーク)」担当の採用について</li> <li>3. 2022年度大学専任教員(現代ビジネス学科)「経済学」担当の採用について</li> <li>4. 2022年度大学教員採用計画の変更及び二号特任教員の採用について</li> <li>5. 2021年度こども園嘱託保育教諭の育児休業期間延長に伴う派遣保育教諭の採用計画について</li> <li>6. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用について</li> <li>7. 2022年度こども園給食調理員臨時職員の採用計画について</li> <li>8. 就業規則改定方針について</li> <li>9. 宮城学院高等学校授業料減免規程の一部改正について</li> <li>10. 宮城学院女子大学司書課程運営委員会規程の制定について</li> <li>11. 宮城学院女子大学学内ワークスタディに関する規程の制定について</li> <li>12. 内壁タイル脱落対策調査業務の契約について</li> <li>13. 空調設備改修設計業務の契約について</li> <li>14. 株式会社仙台村田製作所との連携協定の締結について</li> <li>15. 仙台市社会福祉協議会とのボランティア活動の連携・協力に関する協約の締結について</li> </ul>
11月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度中高専任教員(国語)の採用について</li> <li>2. 2022年度中高専任教員(数学)の採用について</li> <li>3. 2022年度中高専任教員(社会)の採用について</li> <li>4. 2022年度中高専任教員(英語)の採用について</li> <li>5. 2022年度中高契約教員(外国人常勤講師)の採用について</li> <li>6. 2022年度中高特任教員(理科)採用計画の変更について</li> </ul>
11月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学専任教員(教育学科)「英語科教育」担当の採用について</li> <li>2. 宮城学院女子大学国民年金保険料学生納付特例の申請に関する事務取扱規程の制定について</li> <li>3. 宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」園則の改定について</li> <li>4. 宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」運営規程の改定について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 2022年度こども園の体制について</li> <li>6. 大学組合・副手組合への発出文書について</li> </ul>
12月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中高特任教員(英語科)の採用について</li> <li>2. 中高常勤講師(音楽科)の採用について</li> <li>3. 中高常勤講師(保健体育科)の採用について</li> <li>4. 分電盤更新工事の契約について</li> <li>5. 大和リース株式会社との連携協定の締結について</li> <li>6. 大学組合等への発出文書について</li> </ul>
12月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中高常勤講師(理科)の採用について</li> </ul>
12月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学専任教員(食品栄養学科)「調理学」担当の採用について</li> <li>2. 2022年度学生相談室カウンセラーの採用計画について</li> <li>3. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用計画について</li> <li>4. 2022年度事務局嘱託職員等の採用計画について</li> <li>5. 宮城学院女子大学教授会役員等選任規程の改定について</li> <li>6. 中高教員給料表改定基本方針について</li> </ul>
2022(令和4)年 1月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度青桜シャロン寮寮職員採用計画について</li> <li>2. 2022年度中高教務嘱託職員採用計画について</li> <li>3. 2022年度中高不登校支援コーディネーター採用計画について</li> <li>4. 2022年度中高スクールカウンセラー採用計画について</li> </ul>
1月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度年度第2次補正予算(案)について</li> <li>2. こども園専任教員の退職について</li> <li>3. 2022年度事務局嘱託職員の契約更改について</li> <li>4. 2022年度大学教員採用計画について(再募集)</li> <li>5. 2022年度教務嘱託職員等採用計画について</li> </ul>
1月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 専任事務職員の退職について</li> <li>2. 2022年度事務職員採用計画について</li> <li>3. 2022年度こども園採用計画について</li> <li>4. 2022年度こども園嘱託保育教諭の募集について</li> </ul>
2月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 大学専任教員の退職について</li> <li>2. 中高専任教員の退職について</li> <li>3. 中高専任教員の退職に伴う契約教員(特任教員(社会科))の採用計画について</li> <li>4. 中高専任教員の産前産後休暇及び育児休業取得に伴う代替契約教員(常勤講師(社会科))の採用計画について</li> <li>5. 2022年度こども園嘱託保育教諭等の契約更改について</li> </ul>
2月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度大学一号特任教員(食品栄養学科)「生化学」担当の採用について</li> <li>2. 2022年度学生相談室カウンセラーの採用について</li> <li>3. 2022年度専任事務職員(職務経験者)の採用について</li> <li>4. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用について</li> <li>5. 2022年度大学教員採用計画の変更及び二号特任教員の採用について</li> <li>6. 防災アドバイザー(顧問)契約の更改について</li> <li>7. 宮城学院就業規則の一部改正について</li> </ul>

	8. 東日本大震災により被災した学生生徒等に係る授業料等の減免に関する規程の一部改正について（中学校） 9. 大学組合・副手組合への発出文書について
3月2日（水）	1. 2022年度事業計画（案）について 2. 2022年度予算（案）について 3. 宮城学院中学校学則改定について 4. 宮城学院高等学校学則改定について 5. 大学昇任人事について 6. 専任事務職員の退職について 7. 2022年度事務職員採用計画について 8. 事務組織機構の一部見直しについて 9. 事務組織関連規程の一部改正について 10. 2022年度事務局人事について 11. 2022年度教務嘱託職員の採用について 12. 2022年度教務嘱託職員の採用計画（再々募集）について 13. 2021年度子ども園嘱託保育教諭（派遣保育教諭）の採用計画について
3月8日（火）	1. 2022年度事業計画（案）について（継続） 2. 2022年度予算（案）について（継続） 3. 宮城学院経理規程の一部改正について 4. 子ども園専任教員の休職について 5. 2022年度中高常勤講師（国語）の採用について 6. 2022年度中高常勤講師（数学）の採用について 7. 2022年度中高常勤講師（社会）の採用について 8. 2022年度事務嘱託職員（キャリア支援課）の採用について 9. 2022年度子ども園嘱託保育教諭の採用について 10. 2022年度中高特任教員並びに常勤講師の契約更改について 11. 2022年度中高教務嘱託職員の契約更改について 12. 2022年度中高不登校支援コーディネーターの採用について 13. 2022年度中高スクールカウンセラーの新規採用及び契約更改について 14. 内部監査室長（顧問）契約の更改について 15. 大学組合・副手組合への発出文書について
3月22日（火）	1. 名誉教授候補者の推薦について 2. 2022年度中高常勤講師（理科）の採用について 3. 2022年度大学教務嘱託職員の採用について 4. 2022年度子ども園嘱託保育教諭の採用について 5. 2022年度大学特任・特命教員の契約更改について 6. 事務局人事について 7. 宮城学院女子大学自己点検・評価規程の改定について 8. 宮城学院女子大学広報委員会規程の改定について 9. 宮城学院女子大学学長戦略室規程の改定について 10. 宮城学院女子大学における公的研究費による研究活動に関わる不正行為防止に関する規程の改定について 11. 宮城学院女子大学附属発達科学研究所規程の改定について

	12. 2021年度内部監査報告について（報告） 13. 2021年度宮城学院ガバナンス・コード遵守状況について 14. 2022年度大学役員等について 15. 2022年度中高執行体制について 16. 宮城学院女子大学みつばちプロジェクト活動計画（案）について 17. 大学みつばちプロジェクト・アドバイザー（顧問）の契約について
3月28日（月）	1. 大学組合・副手組合等への発出文書について
3月30日（水）	1. 2022年度専任事務職員（職務経験者）の採用について 2. 2022年度事務局人事について 3. 2022年度こども園嘱託保育教諭の採用について 4. 学長裁量経費取扱い規程の制定について 5. 一般社団法人スポーツプロジェクト東北との連携協力に関する協定の締結について 6. 大学組合・副手組合への発出文書について

### （3）評議員会の開催状況

開催年月日	議 題
2021（令和3）年 5月25日（火） （定期）	1. 2020年度事業報告について 2. 2020年度決算について 3. 寄附行為の一部改正について
7月27日（火） （臨時）	1. 次期学院長の選任について 2. 2021年度補正予算（案）について 3. 旧大学寮（橄欖寮）の売却について
11月30日（火） （定期）	1. 次期学院長の選任について 2. 学校法人ガバナンス改革会議（文部科学省）における検討状況について（報告）
2022（令和4）年 1月25日（火） （臨時）	1. 2021年度第2次補正予算（案）について
3月15日（火） （定期）	1. 2022年度事業計画（案）について 2. 2022年度予算（案）について

## 2. 法人、大学、中学校高等学校及びこども園の主要な行事等

### （1）法人（理事会・評議員会を除く）

年 月 日	行 事 等
2021（令和3）年 4月1日 21日 26日	新任教職員辞令交付式 全学院教職員礼拝 公認会計士監査
5月13日～14日 14日 28日 26日	公認会計士監査 監事監査 教職員健康相談 全学院教職員礼拝



年 月 日	行 事 等
6月8日 23日 28日	公認会計士監査 全学院教職員礼拝 教職員健康相談
7月14日 26日	全学院教職員礼拝 教職員健康相談
8月10日～14日 16日	一斉休暇 事務職員全体研修会
9月18日 27日	創立念礼拝・永年勤続者表彰 教職員健康相談
10月7日～8日 11日～12日 14日 20日 25日	教職員健康診断 公認会計士監査 全学院防災訓練 全学院教職員礼拝 教職員健康相談
11月8日 22日 24日	クリスマス・イルミネーション点灯式 教職員健康相談 全学院教職員礼拝
12月7・9日 13日 17日 27日 28日～1月3日	公認会計士監査 教職員健康相談 宮城学院クリスマス礼拝 仕事納め 冬期休業
2022（令和4）年 1月4日 24日	仕事始め 全学院新年礼拝 教職員健康相談
2月9日 28日	全学院教職員礼拝 教職員健康相談
3月11日 22日 24日～25日 28日	東日本大震災記念礼拝 退職者辞令交付式 公認会計士監査 教職員健康相談

## (2) 大学院・大学

年 月 日	行 事 等
2021（令和3）年 4月5日 10日 12日	さくら寮入寮式 森のこども園入園式 前期授業開始
5月8日、15日	新入生歓迎サークル紹介
6月10日 26日	キリスト教教育特別集会 入学式

年 月 日	行 事 等
27 日	オープンキャンパス
7 月 22 日 7 月 23 日 7 月 31 日	通常授業（※海の日） 通常授業（※スポーツの日） オープンキャンパス
8 月 1 日 4 日 5 日～7 日 10 日～9 月 10 日 16 日～28 日	オープンキャンパス 前期授業終了日 補講 夏季休業 連続講義
9 月 4 日～9 日 11 日 19 日～20 日 28 日 29 日	健康診断 後期授業開始 総合型選抜（一次選考） 総合型選抜（一次選考）結果通知 9 月期卒業生学位記授与式
10 月 9 日 15 日～18 日 16 日～31 日 23 日	大学院第 1 回入試 大学祭 オープンキャンパス（web 開催） 総合型選抜（二次選考）
11 月 2 日 4 日～11 日 18 日 20 日	総合型選抜合格発表 学校推薦型選拔出願期間 学友会秋季総会 学校推薦型選抜・編入学・TOEIC 編入学・特別入試、転学科試験
12 月 2 日 9 日 11 日 18 日 24 日 27 日～1 月 4 日	学校推薦型選抜・編入学・TOEIC 編入学・特別入試、転学科試験合格発表 クリスマス礼拝（web 配信） オープンキャンパス 大学後援会特別企画 年内授業終了日 冬季休業
2022（令和 4）年 1 月 5 日 15 日～16 日 26 日 27 日～2 月 1 日	授業開始日 大学入学共通テスト 後期授業終了日 補講
2 月 2 日～7 日 2 日～12 日 3 日 4 日 14 日 17 日 24 日	春季休業 連講 音楽科専門試験（一般選抜（A 日程）・共通テスト利用選抜（A 日程）） 一般選抜（A 日程） 一般選抜（A 日程）、大学入学共通テスト利用選抜（A 日程）合格発表 特別入試（帰国子女・外国人留学生） 大学院第 2 回入試
3 月 4 日 16 日	一般選抜（B 日程）、音楽科専門試験（共通テスト利用選抜（B 日程）） 卒業・修了礼拝、卒業パーティー

年 月 日	行 事 等
18 日	学位記授与式
19 日	こども園終了式
22 日	大学共通テスト利用選抜（C 日程）合格発表※音楽科専門試験のみ
25 日	オープンキャンパス

### (3) 中学校高等学校

年 月 日	行 事 等
2021（令和3）年 4月7日 8日 19日	始業式 入学式 イースター礼拝
5月15日 24日～28日 25日	運動会 キリスト教教育週間 キリスト教教育週間全日行事
6月5日～7日 12日～14日 26日	宮城県高校総体 仙台市中学総体 中学校説明会Ⅰ
7月10日 20日 20日～24日 21日～8月22日 31日	中学校オープンキャンパス 終業 保護者面談 夏休み 高校オープンキャンパス
8月23日 30日～9月10日	始業 オンライン授業
9月4日 15日	オンライン MG 祭（web 配信） 創立記念礼拝・講話
10月1日 8日 9日 14日 16日 25日	後期始業 芸術鑑賞会 高校入試説明会 収穫感謝礼拝 中学校入試説明会Ⅱ 宗教改革記念礼拝
11月6日 11月13日	中学校入試対策講座 中学高校入試対策講座
12月4日 11日 21日 22日～1月7日	高校入試対策講座 クリスマス礼拝 終業 冬休み

年 月 日	行 事 等
2022 (令和 4) 年 1 月 6 日 7 日 11 日 12 日 14 日 22 日	中学校入学試験 中学校入学試験合格発表 始業 高等学校推薦入学試験 高等学校推薦入学試験合格発表 中学校Ⅱ期入試
2 月 1 日 3 日 5 日 28 日	高等学校入学試験 A 日程 高等学校入学試験 B 日程 高等学校入学試験合格発表 高 3 卒業礼拝
3 月 1 日 17 日 18 日 25 日	高等学校卒業証書授与式 中学校卒業証書授与式 終業式 新入生オリエンテーション (中・高)

(4) 大学附属認定こども園「森のこども園」

年 月 日	行 事 等
2021 (令和 3) 年 4 月 9 日 10 日 23 日	第 1 学期始業式 入園式 イースター礼拝
5 月 12 日 14 日 21 日 26 日	親子ウォーキング (5 歳児) 親子ウォーキング (4 歳児) 内科健診 親子ウォーキング (3 歳児)
6 月 5 日 11 日	歯科検診 花の日礼拝
7 月 5 日 17 日 20 日 21 日～8 月 24 日	入園希望者見学日 Day キャンプ (5 歳児) 第 1 夏期休業 1 号児学期終業式
8 月 25 日	第 2 学期始業式
9 月 11 日 16 日 28 日	入園希望者見学日 創立記念礼拝 森のうんどうかい
10 月 1 日 4 日 7 日 21 日 22 日 25 日	3 歳児入園願書配布・見学会 見学会 1 号入園説明会① 森の芸術祭 内科健診 遠足 (3・4 歳児)

年 月 日	行 事 等
26 日	1 号入園説明会②
28 日	遠足 (5 歳児)
11 月 1 日	入園願書受付
6 日	新入園児オリエンテーション
12 日	収穫感謝礼拝
15 日	森の音楽会
12 月 9 日	クリスマス祝会 (1 グループ)
10 日	クリスマス祝会 (2 グループ)
21 日	第 2 学期終業式
22 日～1 月 6 日	冬期休業
2022 (令和 4) 年 1 月 7 日	第 3 学期始業式
2 月 2 日	豆まき
25 日	1 号新入オリエンテーション
26 日	2・3 号新入オリエンテーション
3 月 7 日	修了礼拝
9 日	お別れ会
19 日	修了式
22 日	第 3 学期終業式

### 3. 補助金の状況

○私立大学等経常費補助金<日本私立学校振興・共済事業団> (令和3年度)

学校別	区 分	補助事業に要する経費 (円)	補助金額 (円)	
大学	専任教員等給与費	1,077,561,000	117,005,000	
	内 訳	ア. 専任教員等給与費	1,008,424,000	104,988,000
		イ. 私立大学退職金財団掛金	69,137,000	1,2017,000
	専任職員等給与費	453,247,000	48,698,000	
	内 訳	ア. 専任職員給与費	420,227,000	43,419,000
		イ. 私立大学退職金財団掛金	33,020,000	5,279,000
	非常勤教員給与費	214,729,000	6,566,000	
	教職員福利厚生費	123,316,000	19,324,000	
	教育研究経常費	1,062,880,000	64,809,000	
	厚生補導費	39,503,000	1,965,000	
	研究旅費	12,962,000	1,282,000	
合 計		2,984,198,000	259,649,000	

○特別補助(経常費補助金)内訳表

項目	補助金額 (円)
I 成長力強化に貢献する質の高い教育	3,610,000
地方に貢献する大学等への支援	1,650,000
被災地等の復興支援	600,000
授業料減免事業等支援	0
新型コロナウイルス感染症対策支援	1,360,000
数理・データサイエンス・AI教育の充実	0
II 社会人の組織的な受入れ	0
III 大学等の国際交流の基盤整備	0
IV 大学院等の機能の高度化	0
大学院生に対する授業料減免事業等支援	0
外国人留学生に対する授業料減免事業等支援	0
私立大学等改革総合支援事業	0
合計	3,610,000

○令和3年事業年度授業料等減免費交付金

事業の内容	交付金額 (円)
大学等における修学の支援に関する法律による修学支援	194,340,100

○私立学校運営費補助金＜県補助＞（令和3年度）

	内訳				補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
	人件費(円)	経費(円)	設備費(円)	計(円)		
高等学校	328,106,125	139,843,333	14,488,167	482,437,625	241,218,813	185,970,554
中学校	163,039,745	60,421,590	7,617,209	231,078,544	115,539,272	53,572,868
こども園	114,671,873	15,865,144	7,215,594	137,752,611	68,876,306	1,344,000
合計	605,817,743	216,130,067	29,320,970	851,268,780		240,887,422

○私立学校教育改革推進特別経費補助金＜県補助＞（令和3年度）

区分 学校別	補助対象経費		補助金額(円)
	人件費(円)	経費(円)	
高等学校	328,106,125	139,843,333	1,050,000
中学校	163,039,745	60,421,590	600,000
合計	467,949,458	200,264,923	1,650,000

○仙台市私立学校振興補助金＜市補助＞（令和3年度）

区分 学校別	補助対象経費				補助金額(円)
	図書購入費 (円)	教材教具 購入費 (円)	学校管理用 備品購入費 (円)	計 (円)	
高等学校	730,027	797,264	712,300	2,239,591	2,200,000
中学校	300,160	0	0	300,160	299,200

○子ども・子育て支援制度 教育・保育給付費＜在園児所在市町村補助＞（令和3年度）

事業名称	補助金額(円)
こども園の運営に係る補助	134,917,700

○認定こども園運営費補助金＜市補助＞（令和3年度）

事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
こども園の運営に係る補助	1,300,468	1,190,000

○保育士等就労スタートアップ事業補助金＜市補助＞（令和3年度）

事業の内容	補助金額(円)
保育施設等に従事する若手職員の処遇改善に係る補助	362,500

○キャリアアップ研修参加支援助成金＜市補助＞（令和3年度）

事業の内容	補助金額(円)
キャリアアップ研修を受講する保育士等に係る補助	10,000

○仙台市新型コロナウイルス感染症対策補助金＜市補助＞（令和3年度）

事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
感染症対策物品の購入に係る補助	493,245	493,000

○私立保育所等助成<市補助> (令和3年度)

事業名称	補助金額 (円)
栄養士・看護師雇用助成	274,800
増員調理員助成	1,388,400
増員保育士等助成	3,564,000
障害児等保育助成	1,680,000
合計	6,907,200

○病原性大腸菌対策関連消耗品購入及び病原性大腸菌対策検便費助成<市補助> (令和3年度)

事業名称	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
病原性大腸菌対策関連消耗品購入助成	108,027	76,260
病原性大腸菌対策検便費助成		37,000
合計	108,027	113,260

○預かり保育 (1号認定) <市補助> (令和3年度)

事業名称	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
預かり保育推進事業補助金	1,975,810	622,500
仙台市一時預かり事業 (幼稚園型) 補助金		1,346,430
合計	1,975,810	1,968,930

○延長保育事業費補助金 (2号認定) <市補助> (令和3年度)

事業名称	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
延長保育	3,615,315	2,016,000

○地域子育て支援事業補助金 (広場事業) <市補助> (令和3年度)

事業名称	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
子育て支援室	3,457,770	1,500,000

○冬季暖房用燃料費等補助金<市補助> (令和3年度)

事業の内容	補助金額 (円)
冬季暖房用燃料等に要した費用に係る補助	384,000

○保育士・幼稚園教諭等処改善臨時特例事業費補助金<市補助> (令和3年度)

事業の内容	補助金額 (円)
保育士・幼稚園教諭等の処遇改善に係る補助	546,180

○放課後児童健全育成事業補助金<市補助> (令和3年度)

事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
宮城学院児童クラブ「森の家」	5,835,171	1,134,000



○放課後児童健全育成事業新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業補助金<市補助> (令和3年度)

事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
宮城学院児童クラブ「森の家」	303,305	300,000

○放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業費補助金<市補助> (令和3年度)

事業の内容	補助金額 (円)
放課後児童支援員等の処遇改善に係る補助	44,000

○結核定期健康診断補助金<市補助> (令和3年度)

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高等学校	結核定期健康診断	135,520	90,346

○私立高等学校授業料軽減事業補助金<県補助> (令和3年度)

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高等学校	授業料免除 (3名分)	750,000	750,000

○私立高等学校授業料軽減特別事業補助金<県補助> (令和3年度)

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
中学校	授業料・施設設備資金 (1名分)	483,428	483,000
こども園	保育料・特定負担額免除 (2名分)	240,000	50,000

○私立高等学校等入学金軽減事業補助金<県補助> (令和3年度)

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高等学校	入学金免除 (8名分)	250,000	250,000

○私立中学校就学支援実証事業費補助金<県補助> (令和3年度)

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
中学校	授業料等免除 (5名分)	550,000	550,000

○私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立高等学校等 ICT 教育設備整備推進事業費) <文科省>

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高校	特別教室等プロジェクト設置	5,310,525	2,655,000

○私立高等学校安全設備整備事業補助金<県補助>

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高校	災害備蓄品購入・AED リース	246,816	123,000

○学校保健特別対策事業補助金 (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) <文科省>

学校別	事業の内容	補助対象経費 (円)	補助金額 (円)
高校	オンライン授業環境整備等	1,303,000	900,000
中学校	オンライン授業環境整備等	624,000	450,000

○学校保健特別対策事業補助金（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）＜県補助＞

学校別	事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
高校	感染症対策消耗品等	1,300,000	400,000
中学校	感染症対策消耗品等	600,000	150,000

○理科教育設備整備等補助金＜文科省＞

学校別	事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
高校	実験機器整備	46,860	21,420
中学校	実験機器整備	210,760	97,580

○私立高校不登校生徒支援費補助金＜県補助＞

学校別	事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
高校	人件費	823,000	823,000

○私立学校原油価格高騰対策事業補助金＜県補助＞

学校別	事業の内容	補助対象経費(円)	補助金額(円)
高校	燃料費補助	452,500	452,500
中学校	燃料費補助	207,500	207,500

○研究助成（令和3年度）

学校別	研究代表者	研究区分	補助金額(円)
高校	溝上 豊	科学教育振興助成（中谷医工計測技術振興財団）	1,000,000
高校	溝上 豊	〔環境社会実験〕未来プロジェクト in 仙台	300,000

○科学研究費助成事業<文部科学省・日本学術振興会補助> (令和3年度)

学校別	研究代表者	研究区分	補助金額 (円) (直接経費)	補助金額 (円) (間接経費)
大 学	伊藤 哲章	基盤研究 (C) 継続	600,000	180,000
	太田 峰夫	基盤研究 (C) 継続	900,000	270,000
	鈴木 雅之	基盤研究 (C) 継続	700,000	210,000
	松本 晴子	基盤研究 (C) 継続	200,000	60,000
	澤邊 裕子	基盤研究 (C) 継続	260,000	78,000
	吉村 典子	基盤研究 (C) 継続	300,000	90,000
	平川 新	基盤研究 (C) 継続	300,000	90,000
	西浦 和樹	基盤研究 (C) 継続	150,000	45,000
	足立 智昭	基盤研究 (C) 継続	300,000	90,000
	巖 爽	基盤研究 (C) 継続	1,000,000	300,000
	森 康浩	基盤研究 (C) 継続	1,200,000	360,000
	木村 春美	若手研究 継続	600,000	180,000
	木曾 恵子	特別研究員奨励費 ※1 継続	600,000	180,000
	間瀬 幸江	基盤研究 (C) 継続	440,000	132,000
	木口 寛久	基盤研究 (C) 継続	550,000	165,000
	板橋 夏樹	基盤研究 (C) 継続	300,000	90,000
	本間 義規	基盤研究 (C) ※2 継続	600,000	180,000
	蒔苗 詩歌	若手研究 継続	800,000	240,000
	千葉 陽子	若手研究 継続	1,300,000	390,000
	今野 孝一	研究活動スタート支援 継続	500,000	150,000
	田島 優子	基盤研究 (C) 新規	800,000	240,000
	戸野塚 厚子	基盤研究 (C) 新規	800,000	240,000
青木 拓巳	研究活動スタート支援 新規	1,200,000	360,000	
		合計	14,400,000	4,320,000

※1 キリスト教文化研究所 客員研究員・日本学術振興会 特別研究員

※2 機関異動による移管分を含む

#### 4. 入学志願者、合格者、入学者数

(2021年5月1日 学校基本調査)

			入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	
大 学 院	修 士 課 程	人文科学研究科	英語・英米文学専攻	4	1	1	1
			日本語・日本文学専攻	4	1	0	0
			人間文化学専攻	4	2	1	1
			生活文化デザイン学専攻	4	1	1	1
	健康栄養学研究科	健康栄養学専攻	4	1	1	1	
大学院合計			20	6	4	4	

			入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
大 学	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	95	217	192	98
	教育学部	教育学科幼児教育専攻	90	169	149	91
		教育学科児童教育専攻	50	174	128	54
		教育学科健康教育専攻	30	140	60	35
	生活科学部	食品栄養学科	100	236	191	108
		生活文化デザイン学科	60	95	93	60
	学芸学部	日本文学科	100	183	162	91
		英文学科	70	162	144	63
		人間文化学科	70	156	150	59
		心理行動科学科	60	188	103	72
		音楽科	25	25	24	18
大学合計			750	1745	1396	749
3年次編入学			—	10	10	9

		入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
高等学校		260	544	504	112
中学校		160	57	54	48

※「5. 学部・学科等の入学定員、学生・生徒・園児数」(4ページ)の1年生の数は在籍者数(休学者・留年者・留学者・再入学者等を含む数)となっており、本データの入学者数と同数ではない。

#### 5. 寮生数

(2021年5月1日現在)

さくら寮	青桜シャロン寮	合計
大学 157 名	高校 14 名	171 名

## 6. 2021 年度就職内定状況

(2022 年 5 月 1 日現在)

学 部	学 科	卒業 学生数 (A)	求職者数 (B)	就職 内定者数 (C)	内定率 (C) / (B)
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	100	95	93	97.9%
教育学部	教育学科 幼児教育専攻	95	93	91	97.8%
	教育学科 児童教育専攻	52	51	51	100.0%
	教育学科 健康教育専攻	28	19	18	94.7%
生活科学部	食品栄養学科	110	106	106	100.0%
	生活文化デザイン学科	46	43	39	90.7%
学芸学部	日本文学科	101	84	78	92.9%
	英文学科	90	77	76	98.7%
	人間文化学科	55	43	40	93.0%
	心理行動科学科	56	46	45	97.8%
	音楽科	24	16	16	100.0%
	国際文化学科	1	1	1	100.0%
	合計	758	674	654	97.0%